

令和5年第3回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：令和5年9月5日（火）10時から
場 所：区役所4階1号・2号会議室

議 題

- 1 令和4年度
個性ある区づくり推進費の決算について （資料1）
- 2 令和5年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について （資料2）
- 3 令和6年度
港北区予算編成の考え方について （資料3）
- 4 その他
令和5年度個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の
取組について （資料4）

資料1

令和5年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和5年9月5日
港 北 区

令和4年度 個性ある区づくり推進費 決 算



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和4年度 個性ある区づくり推進費決算総括説明書

1 総括表

(単位：円)

	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C)(=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)
(1) 自主企画事業費	109,251,000	0	109,251,000	103,953,118	5,297,882
(2) 統合事務事業費	53,686,000	0	53,686,000	51,732,079	1,953,921
統合事務費	30,114,000	0	30,114,000	30,840,153	△ 726,153
統合事業費	23,572,000	0	23,572,000	20,891,926	2,680,074
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	564,910,000	18,825,000	583,735,000	590,571,191	△ 6,836,191
合計	727,847,000	18,825,000	746,672,000	746,256,388 (執行率 99.9%)	415,612

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	33,855,000	29,549,858	4,305,142	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業 ・放置自転車対策事業 感染症対策等資機材の入札残(災害に強いまちづくり推進事業) など
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	19,910,000	16,786,894	3,123,106	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育てサポート事業 ・区内保育所PR事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業 「窓口対応満足度」向上事業での入札残(地域子育てサポート事業) など
3 活気にあふれるまちづくり	37,609,000	32,938,026	4,670,974	<ul style="list-style-type: none"> ・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業 ・データ活用によるまちづくり推進事業 小机城址まつり中止による補助金の減(育もう「ふるさと港北」事業) など
4 区民サービス向上に向けた取組	17,877,000	24,678,340	△ 6,801,340	<ul style="list-style-type: none"> ・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業 ・港北区PR情報発信事業 レイアウト変更による増(区民サービス向上・環境改善促進事業) など
合 計	109,251,000	103,953,118 (執行率 95.2%)	5,297,882	

(2) 統合事務事業費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
統合事務費	30,114,000	30,840,153	△ 726,153	区役所業務の事務経費 通信運搬費の増 など
統合事業費	23,572,000	20,891,926	2,680,074	・広報よこはま区版発行业業 ・スポーツ推進員支援事業 デザイン編集委託費の入札残(広報よこはま区版発行业業) など
合 計	53,686,000	51,732,079 (執行率 96.4%)	1,953,921	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
区庁舎等管理費	81,107,000	85,527,326	△ 4,420,326	港北区総合庁舎、港北土木事務所、 行政サービスコーナー（2か所） ・設備管理業務・清掃委託費の増 ・車両リース料の増 など
区版市民活動支援 センター管理費	215,000	140,886	74,114	港北区区民活動支援センター
地区センター等管理費	233,573,000	233,573,000	0	地区センター（6か所） 小机スポーツ会館
青少年施設管理費	9,315,000	9,315,000	0	綱島公園こどもログハウス
公会堂管理費	20,802,000	20,292,920	509,080	港北公会堂 設備管理業務委託費の残
老人福祉センター等 管理費	42,585,000	37,146,416	5,438,584	老人福祉センター菊名寿楽荘 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う 浴室休止による指定管理料の減
コミュニティハウス 管理費	84,346,000	84,332,000	14,000	コミュニティハウス（3か所） 学校施設活用型コミュニティハウス（3か所）
区スポーツセンター 管理費	23,376,000	23,376,000	0	港北スポーツセンター
広場・遊び場等管理費	17,087,000	17,044,489	42,511	港北国際交流ラウンジ 広場・遊び場等（12か所）ほか
区庁舎・区民利用施設 修繕費	3,654,000	3,738,378	△ 84,378	区庁舎、公会堂、地区センター、行政 サービスコーナーなどの小破修繕等
区庁舎等光熱水費	67,675,000	76,084,776	△ 8,409,776	港北区総合庁舎、公会堂、土木事務所、 行政サービスコーナー（2か所） 光熱水費の増 など
合 計	583,735,000	590,571,191 (執行率 101.2%)	△ 6,836,191	

自主企画事業 目次

(単位：円)

事業名	予算額	決算額	差引額	掲載頁
1 安心して安全に暮らせるまちづくり				
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	22,809,000	20,284,111	2,524,889	4
(2) 災害時医療整備事業	397,000	355,948	41,052	10
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	555,000	490,715	64,285	12
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,066,000	3,726,806	1,339,194	14
(5) 放置自転車対策事業	4,376,000	4,042,968	333,032	16
(6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	652,000	649,310	2,690	18
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり				
(1) 「ひとつプラン港北」推進事業	1,245,000	1,199,093	45,907	20
(2) 地域子育てサポート事業	9,667,000	7,443,384	2,223,616	22
(3) 区内保育所PR事業	1,800,000	1,099,730	700,270	27
(4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	250,000	160,566	89,434	28
(5) 離乳食教室	1,158,000	1,084,496	73,504	29
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,990,000	4,000,465	▲ 10,465	31
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000	1,799,160	840	35
3 活気にあふれるまちづくり				
(1) 地域スポーツ推進事業	2,275,000	1,757,458	517,542	36
(2) 港北区商店街活性化事業	1,600,000	1,577,837	22,163	38
(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	971,000	946,249	24,751	40
(4) 育もう「ふるさと港北」事業	8,715,000	7,337,547	1,377,453	43
(5) 地域のチカラ応援事業	3,100,000	2,806,352	293,648	46
(6) 港北魅力発見事業	3,385,000	3,253,467	131,533	48
(7) 芸術文化振興事業	2,000,000	2,000,000	0	50
(8) 区民活動支援事業	1,678,000	1,500,217	177,783	53
(9) 地域振興活動事業	2,840,000	2,567,896	272,104	54
(10) 読書活動推進事業	800,000	798,755	1,245	56
(11) こうほく3R推進事業	1,249,000	1,199,317	49,683	59
(12) 港北エコアクション推進事業	3,076,000	3,054,956	21,044	61
(13) データ活用によるまちづくり推進事業	3,230,000	2,980,000	250,000	63
(14) まちづくり調整費	2,690,000	1,157,975	1,532,025	65
4 区民サービス向上に向けた取組				
(1) 港北区PR情報発信事業	2,110,000	1,820,909	289,091	67
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	5,200,000	4,765,673	434,327	68
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	700,000	630,298	69,702	70
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	9,867,000	17,461,460	▲ 7,594,460	71
《参考》統合事業費				
広報よこはま区版発行事業	12,345,000	11,099,674	1,245,326	72
広聴相談事業	2,092,000	2,013,693	78,307	74
消費生活推進員事業	184,000	113,960	70,040	75
青少年活動支援事業	3,068,000	2,770,612	297,388	76
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	1,008,000	937,208	70,792	7
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,760,000	2,250,920	509,080	37
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	1,619,000	905,859	713,141	60
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	900,000	800,000	100,000	76

※次ページからの詳細の差引理由について、差引額が10万円未満の事業は差引理由を省略しています。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	22,809,000円	20,284,111円	2,524,889円
総務課	差引理由	感染症対策等資機材の入札残 など	

【事業の概要】

避難所等の環境改善や感染症対策の強化をするため、パーテーション等の資機材を整備しました。また、区民の自助・共助の意識を醸成し、風水害時の被害を防止するため、啓発冊子を改訂し区民に配布したほか、防災キャラバンのメニューを拡充しました。さらに、各種訓練等を実施し、区本部の防災体制を強化しました。

【主な内容】

1 避難所等資機材等の充実強化 【予算：8,154,000円、決算：5,837,422円】

(1) 感染症対策等資機材の整備

避難所等における避難者同士のソーシャルディスタンスを確保し、プライバシーの保護や新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、洪水浸水想定区域外に位置する地域防災拠点にパーテーションを整備しました。

4年度に整備を計画していた7か所に、5年度に計画していた2か所を加え、1か所あたり33基、計297基を整備し、17か所の地域防災拠点への配備を完了しました。



【配備したパーテーションを使用した訓練の様子】

(2) 指定緊急避難場所の機能強化に係る補助金の交付

風水害時の避難場所運営を強化するため、地域防災拠点のうち、台風などの風水害時に避難場所として開設する可能性がある17拠点を対象とした、活動経費や資機材の購入費用に係る補助制度を創設しました。

17拠点のうち11拠点の運営委員会から申請があり、補助金を交付しました。

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている資機材について、運営委員会からの要請に基づき修繕を行いました。(2拠点、エンジンカッター各1台)

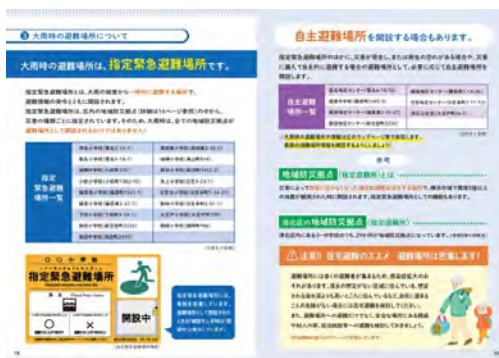
(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

区内29か所の地域防災拠点で行われる訓練において、参加者が負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

2 災害時の情報発信の強化及び自助・共助の啓発 【予算：7,410,000円、決算：6,654,273円】

(1) 風水害時の啓発冊子の改訂

風水害時の避難行動について更に理解を深めてもらうため、鶴見川の流域治水の専門家から意見を伺いながら啓発冊子を改訂し、区民に配布しました。



【啓発冊子「大雨時の避難行動を考えよう」】

(2) 帰宅困難者一時滞在施設用のぼり旗の作成

災害発生時に、帰宅困難者に対して施設が開設中であることを分かりやすく伝えるため、のぼり旗を作成し、区内の全22施設に配付しました。

《参考》

帰宅困難者一時滞在施設の拡充

区内の民間企業の協力をいただき、新横浜駅周辺において新たに1施設を指定しました。



【のぼり旗】

(3) まるごとまちごとハザードマップの実施

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、区内の洪水浸水想定区域内に設置しました。

洪水浸水想定区域がある地区連合町内会のうち、人口や洪水浸水想定区域の範囲等を考慮して決定した綱島・大倉山の2地区に各50か所、計100か所に設置しました。



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ（大倉山地区）】

(4) 港北区防災情報アプリの運用

スマートフォン等で災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」を継続して運用しました。

【ダウンロード数（5年3月末）】

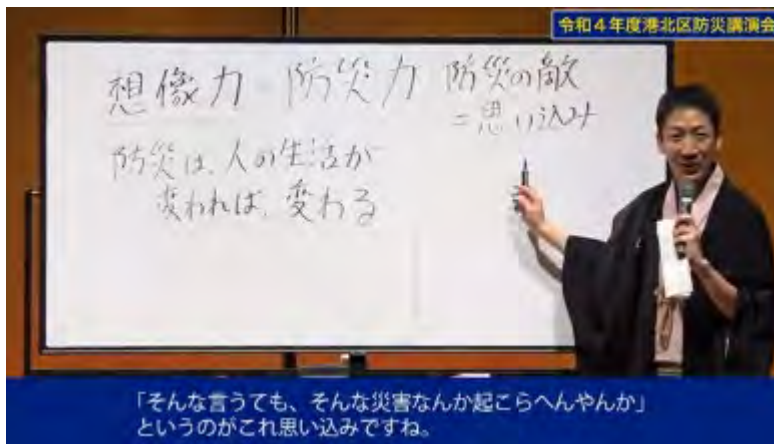
25,994件（iOS, Android）

※4年3月末時点 22,330件

(5) 防災講演会の実施

区民の防災意識を醸成するため、大規模災害時の体験談や災害への備え等について、阪神・淡路大震災の被災経験のある落語家・桂福丸氏を招き、区民が広く参加することができる講演会を開催しました。（1月）

なお、講演の内容は収録のうえ、横浜市公式YouTubeチャンネル上に公開しています。



【講演の様子】

(6) 防災マップ、各種ハザードマップ等の増刷

日頃から区民が自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、防災マップ、各種ハザードマップ等を増刷しました。

(7) 防災キャラバン等の実施

区民の防災意識の醸成のため、自治会町内会等向けの出前講座（防災キャラバン等）を行いました。

なお、4年度から講座のメニューを拡充しました。

【防災キャラバン等の実施状況、参加者数】

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
団体数	6団体	8団体	10団体	8団体	18団体
実人数	268人	299人	369人	357人	1,304人



【防災キャラバンの様子】

【防災キャラバンのテーマ一覧及び実績】（※が4年度から拡充したテーマ）

テーマ	概要	4年度実績
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義	0回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	2回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	0回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	4回
マンション防災※	マンション特有の防災対策についての講義	2回
防災食※	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	2回
発災時のトイレ問題※	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	1回

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業 【予算：1,008,000円、決算：937,208円】

避難指示等の緊急情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用しました。

【対象区域内の配信希望者等(2,912件)】（5年3月末）

- ・洪水浸水想定区域内災害時要援護者 2,595件
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域となる
新羽町・北新横浜・小机町等の一部の住民 193件
- ・自治会町内会の会長（区内全域） 121件
- ・土砂災害警戒情報発表に伴う
即時避難指示対象の区域の住民 3件

3 区災害対策本部の充実 【予算：6,875,000円、決算：7,432,116円】

(1) IP無線機等を活用した円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、IP無線機等の各種通信機器を継続して運用しました。

IP無線機の特性

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能



【IP無線機】

(2) 災害時における避難場所等運営

4年9月に日吉本町二丁目で発生した擁壁崩れの影響により、周辺に避難指示を発表したことに伴い、避難場所として地区センター等を借り上げ、施設使用料を負担しました。



【避難場所（日吉地区センター）開設時の様子】

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しました。

【訓練】

- ・区職員向け動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員向け安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修（4月 転入責任職28人）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月 32人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修（7月 34人）
- ・拠点動員者研修（9月・書面実施）



【風水害時避難場所運営責任者研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品の整備等

職員用の非常用トイレパックやヘルメット等を購入し、区本部の備蓄品の整備を行いました。

4 各種団体への補助等 【予算：370,000円、決算：360,300円】

(1) 災害ボランティア連絡会への補助

災害時にボランティア活動が円滑に実施できるように、コーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として港北区災害ボランティア連絡会に補助金を交付しました。

(2) アマチュア無線非常通信協力会が使用する無線機の更新

各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器を継続して運用するため、新規格に対応した機器を5拠点分更新しました。

[総務局区配予算]

地域防災力向上事業

- ・地域防災活動奨励助成金 【予算：3,480,000円、決算：3,480,000円】
区内29か所の地域防災拠点へ助成（1拠点あたり12万円交付）
- ・町の防災組織活動費補助金 【予算：18,363,000円、決算：18,247,360円】
区内139団体の町の防災組織へ補助（1世帯あたり160円交付）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (2) 災害時医療整備事業	397,000円	355,948円	41,052円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

区防災計画（震災対策編）における災害時医療等の対策を講じるため、関係機関と会議を開催し連携を深めるとともに、医療救護隊等訓練の実施、必要物品の整備、災害支援ナースの登録促進を進め、災害医療体制の維持及び整備を図りました。

【主な内容】

1 医療救護に関する関係機関との連絡会議の開催 【予算：20,000円、決算：7,064円】

災害医療連絡会議を開催し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関して、意見交換や情報共有を行いました。（6月、10月、2月）

※参加機関…三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、災害拠点病院、災害協力病院、訪問看護ステーション、警察、消防、行政関係機関



【災害医療連絡会議】

2 医療救護隊訓練の実施 【予算：50,000円、決算：5,188円】

三師会と連携し、各種訓練を実施しました。

- ・災害時医療機関報告書持込み訓練（10月～11月）
駒林小、大曾根小、師岡小の3地域防災拠点に対し、延べ41医療機関が参加しました。
- ・医療救護隊実地訓練（12月）
港北区医師会館・日吉台中学校コミュニティスクールの2参集拠点で訓練を実施しました。
三師会、Yナース、区役所 計70人参加
- ・のぼり旗、フラッグ掲出訓練（9月、1月）
- ・通信訓練（局⇄区：年6回、区⇄医療機関：年4回）



【医療救護隊実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】



【訓練の参加人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
参集実地訓練 (実人数)	64人	116人	中止	41人	70人
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	—	—	—	41診療所

3 医療救護隊用装備品の整備 【予算：164,000円、決算：205,492円】

医療救護隊及び保健活動グループの事務用品及び新型コロナウイルス感染防止対策のための装備品等を購入しました。

4 Yナースの登録促進及び管理 【予算：43,000円、決算：9,996円】

- ・登録促進のため、募集リーフレットの配布、広報よこはま区版やツイッターでの広報（9月、1月）を行いました。
- ・県看護協会や医療局主催の研修（11月、1月）、医療救護隊訓練実施（12月）への呼びかけを行いました。
- ・発災時に参集ができる状況かの実態把握や課題把握等を目的として、Yナース登録者を対象にアンケートを実施し、雇用形態や勤務形態、参集可能時間、課題に感じている事等について調査しました。

【Yナース登録人数】※各年度の人数は、年度末時点の登録者数

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
登録人数	52人	66人	56人	72人	64人

5 港北区医師会等との連携推進 【予算：120,000円、決算：128,208円】

港北区医師会に加入し、各種会議及び研修への参加を通じて、一層の連携促進、災害医療体制の構築を図りました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	555,000円	490,715円	64,285円
生活衛生課	差引理由		

【事業の概要】

区民の快適な暮らしのため、営業施設への監視指導や衛生講習会の実施、動物の適正飼育や災害時のペット対策の啓発を行いました。

また、啓発媒体のデジタル化の推進により、区ホームページへのアクセス数が向上し、食中毒予防啓発が進みました。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策 【予算：365,000円、決算：263,215円】

(1) 食中毒・感染症予防のための監視事業

- ・食品関係営業施設の監視指導を実施しました。
- ・区ホームページ、SNSを活用した啓発を実施しました。

【食品関係施設監視件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
件数	1,868件	2,366件	1,663件	800件	1,052件

(2) 衛生講習会の実施

- ・事業者の衛生管理向上のため講習会を実施しました。

【講習会実施回数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
回数	38回	26回	9回	7回	6回

《参考》

【食中毒・感染症発生状況】

暦年		30年	元年	2年	3年	4年
食中毒	件数	7件	4件	3件	2件	2件
	患者数	62人	48人	24人	7人	4人
感染症※	件数	22件	26件	22件	35件	43件
	患者数	181人	310人	41人	274人	202人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

2 ペットのマナー啓発と災害時のペット対策 【予算：190,000円、決算：227,500円】

- ・動物の適正飼育に関する啓発、指導
- ・資料を用いた飼い犬の散歩マナー向上啓発
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発
(4月：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発(5月～12月)



【マナー・防災に関する啓発資料】



【ペットのマナー・防災対策教室】

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引(A-B)
1 - (4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,066,000円	3,726,806円	1,339,194円
地域振興課	差引理由	路面標示の新設・修繕件数の減 など	

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため行政機関、団体、住民組織等が連携協力した啓発活動や、昨今の事故の状況等を踏まえた、児童、高齢者に対象を絞った事業を実施しました。5年前（平成30年）と比較して、交通事故件数は174件（25%）、負傷者数は224人（29%）減少しました。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業【予算：4,641,000円、決算：3,570,641円】

- (1) はまっ子交通安全教室 : 小学校17校
- (2) 交通安全ポスターコンクール : 応募494点
- (3) スクールゾーン路面標示 : 48か所
スクールゾーン電柱巻 : 60か所



【スクールゾーン路面標示】

2 交通安全運動事業【予算：166,000円、決算：122,725円】

- (1) 各種交通安全キャンペーン
 - ・春の交通安全キャンペーン：東急菊名駅にて街頭啓発実施
（4月 30人参加 啓発物品300個配布）
 - ・夏の交通事故防止運動：日吉駅にて街頭啓発実施
（7月 30人参加 啓発物品300個配布）
 - ・秋の全国交通安全運動：新羽駅にて該当啓発実施
（9月 19人参加啓発物品400個配布）
 - ・年末の交通事故防止運動：新横浜駅にて街頭啓発実施
（12月 22人参加 啓発物品400個配布）
 - ・他に自転車マナーアップキャンペーン、二輪車事故防止の啓発活動等の実施
- (2) 安全安心のつどいの開催
交通安全功労者、ポスターコンクールの入賞者、防犯活動功労者の表彰等を実施（12月）
開催場所：港北区公会堂
参加者：約250人



【表彰式】



【ポスター展示】

3 高齢者交通安全対策事業 【予算：200,000円、決算：0円】

- ・交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会（書面開催）
- ・シルバードライビングスクールの開催
（10月 日吉自動車学校 9人参加、11月 菊名ドライビングスクール 10人参加）
- ・交通安全講習会（4月 港北区公会堂 9人参加）
- ・高齢者ウォークラリー（9月 区役所から大倉山公園までのルートで実施 14人参加）

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【予算：59,000円、決算：33,440円】

施設の存在を知らせ子どもの飛び出しに注意を促す「電柱巻看板」を新規開園等の施設付近の電柱に設置し、乳幼児の事故防止を図りました。（4か所）



【電柱巻看板】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (5) 放置自転車対策事業	4,376,000円	4,042,968円	333,032円
地域振興課	差引理由	監視員事業の入札残 など	

【事業の概要】

駅前において歩行者の安全を確保するため、自転車等の放置が著しい駅周辺への自転車等放置防止監視員の配置やキャンペーンによる啓発活動を行うことで、区内の放置自転車台数の急激な増加を防止しました。

【主な内容】

1 監視員事業 【予算：3,728,000円、決算：3,508,880円】

駐輪禁止区域内の自転車等の放置防止やマナーアップを図るため、自転車等の放置が著しい駅周辺へ自転車等放置防止監視員を配置しました。

【自転車等放置防止監視員配置人数（1回あたり1人3時間）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ配置人数	3,840人	3,264人	2,836人	1,952人	1,752人

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
放置台数	444	422	365	214	330
駐輪場台数	19,619	19,896	19,981	20,039	19,461

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

【道路局区配予算】

- ・自転車マナーアップ事業【予算：7,338,000円、決算：6,898,000円】
自転車放置防止監視員の配置（区づくり推進費と合算して執行）

2 放置自転車等撤去事業 【予算：90,000円、決算：0円】

休日の日吉駅、綱島駅及び新横浜駅以外の駅については、各駅の放置の状況を鑑み必要に応じて緊急で撤去を行う場合に備えて予算を確保していましたが、対応が不要であったため実施しませんでした。

【道路局が実施する各駅の撤去回数】

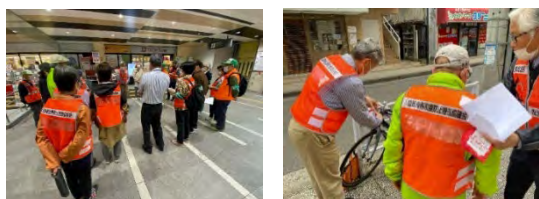
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
平日	281回	242回	320回	323回	282回
休日	59回	57回	31回	56回	37回

局事業**[道路局事業]**

来街者も多く放置自転車の多い駅は集中的な対策を維持する必要があるため、重点的に移動作業を実施しました。

3 地域活動事業 【予算：558,000円、決算：534,088円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じた協議会の活動を支援しました。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	652,000円	649,310円	2,690円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区民が主体となり防犯活動に関わることができるよう、犯罪状況等の情報提供や防犯啓発物品の配布など多角的に防犯活動の支援を行うことで、地域の防犯力向上に努めました。

また、犯罪発生件数の減少に向けて、区内で頻発している特殊詐欺への対策についても警察と連携し、区民へ情報発信等を行うことで、防犯意識の向上に繋がりました。

【主な内容】

1 「防犯情報メール」の配信 【予算：132,000円、決算：132,000円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から情報提供があった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しました。特に、特殊詐欺の前兆電話があったという情報を、「特殊詐欺警報」として即時に配信し、注意喚起しました。

【防犯情報メール登録者数】

年度	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末
延べ登録者数	8,750人	9,711人	10,622人	11,250人	11,569人

2 防犯啓発活動 【予算：300,000円、決算：319,310円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

自治会町内会向けに、「のぼり旗」や「ベスト」など、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しました。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、防犯パトロール及び放送による防犯啓発を行いました。

警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等、その時々状況に合わせた注意を呼び掛けました。

(3) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や防犯関係団体、地域、学校、事業者、行政の各関係者による「港北AAA作戦会議」を開催しました。（6月 書面開催）

(4) 港北区安全・安心のつどいの開催【再掲】

防犯功労者表彰や防犯講話を、公会堂で実施しました。（12月）

3 「子ども110番の家」ネットワーク会議

「子ども110番の家」活動の情報交換を目的に、「子ども110番の家ネットワーク会議」の役員会（7月）及び各小学校のPTAの代表者を対象に「子ども110番の家ネットワーク会議」を開催（9月 書面開催）しました。

4 特殊詐欺対策機器設置事業 【予算：220,000円、決算：198,000円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、主に地域の高齢者を対象に、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について、各家庭での設置を促すなど、警察等関係各所と連携して特殊詐欺防止の啓発を実施しました。

【市民局区配予算】

- ・地域防犯啓発事業 【予算：90,000円、決算：90,000円】
防犯情報メールの登録を促すチラシを作製して配布

《参考》

【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	30年	元年	2年	3年	4年
犯罪発生件数	1,735件	1,453件	1,109件	1,215件	1,426件
特殊詐欺	58件	74件	35件	58件	105件
同被害額	2億4,800万円	1億8,400万円	5,500万円	1億4,345万円	1億8,532万円

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,245,000円	1,199,093円	45,907円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）」の区計画を推進するとともに、地区ごとに策定した地区計画の推進を支援しました。また、地域活動の魅力伝えるコンテストを地域と連携して実施し、地域活動への参加促進や新たな担い手の発掘に繋げました。

【主な内容】

1 区計画推進・地区計画推進支援 【予算：595,000円、決算：813,200円】

(1) 区計画推進

- ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催（9月）
- ・地域活動への参加を促す広報（10月）

第4期区計画の重点目標である「幅広い住民の地域活動への参加促進」に向け、特に30～40代の若い世代の参加のきっかけになるよう地域活動の魅力伝えるコンテストを実施しました。（あなたのイイね！伝えよう～まちの素敵な取組コンテスト～）

- ・コンテスト審査会の開催（2月）
- ・コンテストに入賞した活動を活用し広報用リーフレットと啓発動画を作成（3月）



【コンテストの作品募集チラシ】

【広報用リーフレット】



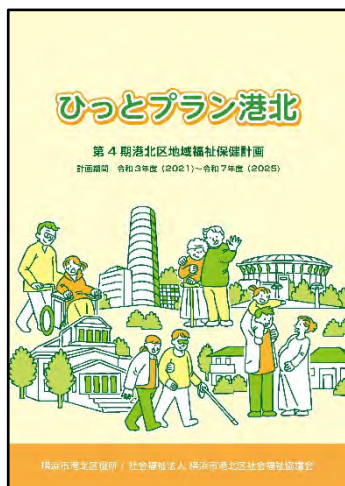
【啓発用動画】

(2) 地区計画推進支援

地区計画サポートスタッフ（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの各職員）による各地区の状況に応じた地区計画推進の支援を実施しました。

2 計画周知・啓発 【予算：650,000円、決算：385,893円】

第4期区計画冊子及び概要版、地区計画リーフレットの増刷（3月 1,100部）



【第4期計画冊子】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2 - (2) 地域子育てサポート事業	9,667,000円	7,443,384円	2,223,616円
こども家庭支援課	差引理由	「窓口対応満足度」向上事業での入札残など	

【事業の概要】

全ての妊婦・保護者が、孤立感を持つことなく安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援施設の利用支援、妊婦・保護者同士の仲間づくりの支援、児童虐待防止等の取組を実施することで、子育て支援を充実させました。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業 【予算：600,000円、決算：600,000円】

妊婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び仲間づくりの場の提供のため、親と子のつどいの広場（6か所）で、マタニティプログラム*を実施しました。

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験 等

【実施回数・延べ参加人数】

年度	2年度	3年度	4年度
実施回数	59回	84回	81回
延べ参加人数	88人	135人	139人

局事業

〔こども青少年局事業〕

- ・親と子のつどいの広場事業（補助事業）

妊婦と保護者を対象に、利用者同士の交流、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しました。

2 土曜両親教室事業 【予算：1,000,000円、決算：290,400円】

妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくりのため、パートナーも参加しやすい平日夜と土曜日にオンライン両親教室を実施しました。なお、4年度は一部局予算（局モデル事業）を活用して実施しました。

【実施回数・参加人数】

年度	4年度
実施回数	24回
延べ人数	384人

[こども青少年局区配予算（局モデル事業）]

・土曜両親教室事業 【予算：783,000円、決算：774,954円】

妊婦とそのパートナーを対象に、土曜日に、地域子育て支援拠点及び地域ケアプラザで、対面での両親教室を実施しました。（年36回）
（4年度は区局連携事業から局モデル事業に移管しました。）

[こども青少年局区配予算]

・両親教室 【予算：360,000円、決算：288,000円】

初めて母親になる方とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を開催しました。（3回連続講座×年12コース）

3 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【予算：545,000円、決算：481,546円】

初産婦や転入してきた妊婦を対象に、地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりを目的に、親と子のつどいの広場の利用体験券をこども家庭支援課の窓口や妊娠後期に送付する手紙で配布しました。

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度
配布枚数	4,747枚
利用延べ件数	159件

《参考》

元年度から3年度は、つどいの広場でのプレゼント交換チケットを、区役所窓口で配布。

年度	元年度	2年度	3年度
チケット配布枚数	500枚	1,718枚	1,565枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個

局事業

[こども青少年局事業]

・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの妊婦、保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しました。（4年度妊娠届出数：3,355件）

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【予算：1,785,000円、決算：1,692,488円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館や地域ケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しました。（全23会場）

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
開催回数	237回	211回	140回	226回	229回
実人数	3,355人	2,788人	1,762人	2,209人	2,380人
延べ人数	9,554人	7,732人	3,171人	5,579人	6,661人

※2年7月から新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場ごとに定員の上限を設定

5 児童虐待防止対策事業 【予算：965,000円、決算：505,249円】

- ・「子どものかかわり方」講座（対象：保護者、子育て等の支援者）
小学校低学年保護者向け（7月 47人）
小学校高学年保護者向け（11月 44人）
- ・区全体会（対象：港北区要保護児童対策地域協議会関係機関を対象、7月）
- ・児童虐待防止啓発グッズの作製（11月）
- ・ふれあいまつりでの啓発ブース設置（11月）
- ・民生委員・児童委員協議会地区（全22地区）からなる全12エリアのエリア別連絡会
一昨年度未実施エリア等、4エリアで実施（新羽エリア、篠原エリア、下田エリア、城郷エリア）
- ・病院、学校等の関係機関と機関別連絡会の開催
小中学校（6月 34人）
横浜市総合リハビリテーションセンター（3月 26人）
横浜労災病院（11月 12人）

6 歯つらつ1歳歯みがき教室 【予算：517,000円、決算：456,571円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や、歯みがきの実習を行いました。（年36回 7～9か月の方向け12回、12～14か月の方向け24回）

【歯みがき教室参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実人数	916人	778人	143人	365人	397人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局区配予算]

- ・乳幼児歯科相談
0歳～未就学児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を行いました。（年24回）

7 母乳育児相談 【予算：219,000円、決算：231,001円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しました。(年24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実人数	190人	116人	102人	80人	100人

局事業

【こども青少年局事業】

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしました。

利用料：1回につき9,000円（自己負担4,000円）

対象：生後4か月未満の子どもを持つ母親

利用回数：3回まで（1回につき60～90分程度）

【母子ケア事業利用者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
港北区	88人 (174回)	141人 (207回)	215人 (600回)	250人 (475回)	250人 (477回)
横浜市	663人 (1,295回)	843人 (1,592回)	391人 (3,856回)	1,272人 (2,408回)	1,098人 (2,090回)

※30年1月31日より事業開始 訪問実人数（訪問延べ回数）

8 「窓口対応満足度」向上事業 【予算：3,616,000円、決算：2,843,558円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口以案内員を配置しました。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置しました。

【窓口案内員配置日数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
案内員配置日数	164日	169日	142日	157日	167日

9 「保育園等による子育て支援」事業 【予算：420,000円、決算：342,571円】

(1) わくわく子育て広場

子育て家庭を対象に、地域における子育て支援を目的に、親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しました。

【4年度実施月】

- ・日吉本町地域ケアプラザ 7月
- ・樽町地域ケアプラザ 10月
- ・菊名保育園 園庭 11月
- ・宮前公会堂 11月

【わくわく子育て広場参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度 ^{※1}	3年度 ^{※2}	4年度
実人数	1,512人	1,680人	中止	259人	321人

※1 2年度は新型コロナウイルスの影響で中止。

※2 3年度、4年度は新型コロナウイルスの影響で、地域別に縮小開催。

(2) ベビーステーション

乳児を子育て中の保護者に対し、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を行いました。

より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーを作製し、参加施設に掲出を依頼し、取組を周知しました。

【ベビーステーション参加施設数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
参加施設数	89施設	92施設	94施設	94施設	95施設

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2 - (3) 区内保育所PR事業	1,800,000円	1,099,730円	700,270円
こども家庭支援課	差引理由	コンサルタント派遣回数減少による減など	

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育士の確保や保育の質向上に向けた取組を行いました。また、申請手続きが複雑な保育・教育制度について、地区別の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した区独自の利用案内を作成するなど、申請者にとってより理解促進が図れる情報発信が実現できました。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【予算：550,000円、決算：118,800円】

保育士の採用や定着に苦慮している区内の民間保育所等及び横浜保育室を対象に、区独自で専門のコンサルタントを派遣し、保育士の確保を支援しました。

港北区内保育施設等を対象に、3園実施しました。

2 保育・教育情報提供事業 【予算：90,000円、決算：0円】

複雑な保育・教育制度を理解いただくため、制度や手続き、よくある質問について解説する保護者向けの動画の制作を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染症対応業務を優先するため、既存の動画を活用し、新規制作を見合わせました。

3 保育所等利用案内の作成 【予算：910,000円、決算：935,930円】

市の利用案内ではカバーしきれない地区別の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービス等について分かりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成しました。

区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」で配布しました。

【保育所等利用案内の発行部数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実績	12,000部	14,000部	13,000部	13,000部	9,000部

4 民間園向け研修 【予算：250,000円、決算：45,000円】

区内の新規保育所等の増加に伴い、経験の浅い保育士が増えており、区内保育所全体の保育の質の確保・向上を目指すため、保育現場から要望の多いものなどをテーマに、外部講師を招き講義を行いました。港北区内保育施設等を対象に、3回実施し、計274人が参加しました。

《参考》

○第一回

講義：リハビリテーションセンターの役割と地域連携（6月 参加者93人）

○第二回

講義：実例を通して学ぶ、災害時における園がすべき行動について（9月 参加者94人）

○第三回

講義：信頼関係を築き、より良い園をつくるコーチング研修」（2月 参加者87人）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2 - (4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	250,000円	160,566円	89,434円
こども家庭支援課	差引理由		

【事業の概要】

放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブの施設従事者に対して様々なテーマの研修を実施し、研修受講機会を増やすことで人材育成が促進されるとともに、日頃顔を合わせる機会の少ない施設従事者間のグループワーク等を通じて、クラブ間の情報共有ができました。

【主な内容】

支援者研修 【予算：250,000円、決算：160,566円】

研修テーマ	参加人数 158人	実施時期
1 保護者との関わり方	29人	6月
2 火災、地震及び風水害時の備えと対応	29人	7月
3 障害児（配慮が必要な児童）理解と実践的な対応	30人	10月
4 防犯（不審者対応と日頃の備え）、応急措置（AED取扱）	20人	11月
5 職場内や保護者等とのコミュニケーション・職場の環境作り	27人	12月
6 虐待の基礎知識、虐待を受けたと思われるこどもを発見したら	23人	1月



【防災】



【AED取扱】



【職場環境作り】



【虐待防止】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(5) 離乳食教室	1,158,000円	1,084,496円	73,504円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

離乳食をはじめ子どもの食事に関する疑問や悩みを解消するため、離乳食教室、子どもの個別栄養相談、離乳食手帳の配布を行い、それぞれが抱える不安や負担の軽減や、離乳食の導入を速やかに図るためのきっかけを作ることができました。

【主な内容】

1 離乳食教室の開催 【予算：844,000円、決算：778,496円】

- ・回数：月3回実施 年間36回
- ・内容：講話・試食・個別相談
- ・会場：区役所

※ 試食については新型コロナウイルス感染防止対策のため実施していません。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度*1	2年度*2	3年度	4年度
実施回数	36回	33回	18回	36回	36回
参加者数 (実人数)	863人	712人	119人	379人	394人

※1 新型コロナウイルスの影響により2月の参加者数減、3月(3回)は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響により実施回数減(18回)及び参加者数減

2 子どもの個別栄養相談 【予算：72,000円、決算：72,000円】

- ・対象者：生後5か月以降の子どもの養育者
- ・回数：月3回半日 年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談(1人当たり約1時間)

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局区配と合算)

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実人数	73人	93人	101人	103人	108人

【健康福祉局区配予算】

- ・健康づくり事業乳幼児食生活健康相談 【予算：161,048円、決算：149,050円】

0～18歳の子どもとその保護者に対して食生活健康相談を実施しました。

3 港北区離乳食手帳等の配布 【予算：242,000円、決算：234,000円】

離乳食の基礎知識をもってもらうために、離乳食手帳を作成し、4か月児健診を受診する全ての養育者に配布しました。

- ・作成部数：4,000部



【離乳食手帳】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,990,000円	4,000,465円	▲10,465円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

区民向けの広報・啓発事業を実施し、高齢者・障害者支援についての理解を促進しました。また、研修等を実施し、支援者間の連携強化や支援者のスキルアップを行いました。

あわせて、地域における災害時要援護者支援の取組や安否確認に向けた取組を促進することができました。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【予算：870,000円、決算：1,210,438円】

(1) 介護予防

地域で介護予防に取り組んでいる自主グループの代表者や元気づくりステーション支援者を対象に、介護予防活動支援者向け研修会を開催しました。(10月、11月)

(2) 認知症支援

認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用しました。また、パンフレットを増刷し、普及啓発を進めました。

「認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）」の情報共有及びモチベーション向上のためにつどいの場を開催しました。(2月)



【かえるネットパンフレット】



【きょういく・きょうようガイド (地域活動情報リーフレット)】

(3) 地域ケア会議

地域包括ケアシステム構築に有効なツールである地域ケア会議※を効果的に開催できるよう、研修会等を実施しました。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議を3年ぶりに集合型で開催しました。(3月)

高齢者が身近な場所でやりがいや生きがいを感じながら地域活動ができるよう、住民主体の地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）情報をまとめたリーフレット（きょういく・きょうようガイド）を作成、配布しました。

※地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を図る会議

【地域包括ケアシステムイメージ図】



【健康福祉局区配予算】

- ・介護予防関連事業 【予算：1,035,124円、決算：812,867円】
フレイル予防講演会、地域活動への専門職の派遣や、元気づくりステーションの支援
10分ラジオ体操リーダー養成講座、支援者向け研修（地域診断研修）の開催など
- ・認知症関連事業 【予算：240,144円、決算：111,240円】
認知症家族のための介護者セミナーや、一般の区民向けの認知症講演会の開催など
- ・虐待予防関連事業 【予算：56,000円、決算：11,070円】
介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会や、虐待防止のためのネットワーク
ミーティングの開催など

《参考》

【港北区における高齢者の状況】

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
65歳以上人口	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人	70,730人 (市内3位)
高齢化率	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%	19.9%
認知症高齢者数※	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人	6,696人
要介護認定者数(1号)	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人	13,297人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。
2年度以降は新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外
されている。実質的には2年度以降も増加傾向。

2 障害者支援事業 【予算：720,000円 決算：377,260円】

(1) 研修・啓発講演会の実施

区自立支援協議会*や作業所等において、支援機関の連携強化や職員の支援技術の向上のために、研修会を開催しました。また、関係機関と連携をしながら、区民向けの啓発講演会を開催しました。

研修テーマ：港北区の相談支援機関を知ろう（7月）

地域共生社会ってなに？（2月）

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【過去の啓発講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	中止	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは	54人

※2年度は新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 健康講座の開催

自身の健康について知識等を得るために作業所の利用者向けに健康講座等を開催しました。

出張健康講座（栄養講座） 中途障害者及び施設職員対象（11月）

【健康講座実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
回数	5回	4回	1回	1回	1回
参加者数	58人	54人	13人	11人	14人

(3) 区内事業所紹介パンフレット更新

障害者の地域活動について広く周知を図る目的で、障害当事者及び支援者等が活用する区内事業所を紹介するパンフレットの時点更新を行いました。

内 容：区内にある事業所の活動内容や製品情報、PRしたいこと等

配布場所：区役所 等



【区内事業所紹介パンフレット
まるっと港北】

[健康福祉局区配予算]

- ・精神障害者の生活教室事業 【予算：128,000円、決算：92,000円】

精神障害者の対人関係等の改善や社会生活への適応促進を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。

- ・難病相談事業 【予算：223,210円、決算：153,580円】

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送るために、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》

【港北区における障害者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
身体障害者 手帳所持者数	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人	7,294人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人	3,413人
「愛の手帳」 所持者数	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人	2,603人
合計(延べ数)	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人	13,310人

3 災害時要援護者支援事業 【予算：550,000円、決算：700,300円】

区内の協力企業に災害用としてポータブルバッテリーを貸与し、長期停電時に協力企業による共助の取組として充電済みのバッテリーを要電源医療機器利用者に貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行う仕組みづくりを検討しました。

【健康福祉局区配予算】

・災害時要援護者支援事業 【予算：2,024,000円、決算：1,405,637円】

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿提供を行います。

4 来庁者窓口サポート事業 【予算：1,850,000円、決算：1,712,467円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行いました。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	30年度	元年度※	2年度	3年度	4年度
件数	3,669件	2,873件	1,621件	1,413件	1,738件

※元年度から指定難病の集中受付日を廃止し待機席案内件数が減少

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

年度	30年度	元年度	2年度※	3年度	4年度
件数	18,584件	19,697件	14,925件	16,897件	17,717件

※新型コロナウイルス感染症対策による各種手続簡略化等により減少

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000円	1,799,160円	840円
こども家庭支援課	差引理由		

【事業の概要】

学齢期の児童が、その子らしさを発揮しながら健やかに生活ができるよう、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施することで、児童が生活能力を獲得する機会を創出しました。

【主な内容】

- 1 港北区版寄り添い型生活支援専門員の派遣事業 【予算：1,800,000円、決算：1,799,160円】
不登校児や養育支援を要する学齢児を対象に、安心した登校や生活能力の獲得を目的に、個別訪問による登校支援及び生活習慣の実践的な支援を実施しました。
 - (1) 登校支援
不登校となっている児童に対し、個別に自宅に訪問し、登校支援等を行いました。
 - (2) 自宅での生活能力の獲得に向けた生活習慣の実践的な支援
自宅を訪問し、児童に対し自宅で生活支援を行いました。
 - (3) 児童が安心して過ごせる居場所利用に繋げる支援
児童が安心して過ごせる居場所（寄り添い型生活支援事業、ハートフルスペース等）について、一緒に考え、見学に同行するなど、居場所利用に向けた支援を行いました。

【港北区寄り添い型生活支援専門員事業利用者数】

年度	4年度
人数	3人
回数	29回

【こども青少年局区配予算】

- ・寄り添い型生活支援事業 【予算：16,142,000円、決算：16,127,113円】
生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しました。

局事業

【教育委員会事務局事業】

- ・ハートフルスペース（市内4か所：鶴見区・港南区・保土ヶ谷区・都筑区）
不登校状態にある児童生徒に対して、自己肯定感と相互の信頼関係を育み、社会的自立に向けた相談・支援を行います。また、児童生徒の保護者同士の情報交換会を行っています。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,275,000円	1,757,458円	517,542円
地域振興課	差引理由	コロナ禍による港北区スポーツ振興事業補助金申請団体数の減 など	

【事業の概要】

区内のスポーツ活動団体が行う地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業を対象とした補助金交付、港北駅伝大会実行委員会への事業補助金交付及び大学との連携を通じたスポーツ推進事業を実施したことで、区内における地域スポーツの推進・活性化ができました。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【予算：495,000円、決算：270,000円】

【港北区スポーツ振興事業補助金の概要】

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体の事業を補助することにより、区内のスポーツ振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
交付団体	12団体

2 港北駅伝大会 【予算：1,000,000円、決算：952,275円】

港北駅伝大会の開催を支援したことにより、地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流が図れました。



【駅伝大会の様子】

【参加チーム数】

年度	30年度	元年度	2年度*	3年度*	4年度
チーム数 (参加者数)	232 (1,395人)	235 (1,380人)	中止	中止	154 (913人)

※2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

3 大学とのスポーツ連携事業 【予算：780,000円、決算：535,183円】

慶應義塾大学等と連携したスポーツ事業を実施したことにより、ラグビーワールドカップ2019™（日本大会）で築いたレガシーをラグビーワールドカップ2023™（フランス大会）の機運醸成へ繋げるとともに、区内のスポーツ活動の推進が図れました。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校（全26校）に希望を募り、慶應義塾體育會蹴球部（ラグビー部）の学生を講師として派遣し、タグラグビー授業を実施しました。（5月～11月）

【実施実績】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実施校数	9校	10校	中止	7校	7校

※2年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

開催日：6月

開催場所：しんよこフットボールパーク

対象：小学生

【実施実績】

年度	30年度	元年度	2年度※3	3年度※3	4年度
参加人数	30人※1	130人※2	中止	中止	52人

※1 30年度は親子参加15組

※2 元年度は2回開催の延べ人数

※3 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【予算：2,760,000円、決算：2,250,920円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・小学生スポーツフェスティバル運営費

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(2) 港北区商店街活性化事業	1,600,000円	1,577,837円	22,163円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

消費者の関心・認知度の向上を図り商店街を活性化させることを目的とし、区内商店街及び商店街加盟店舗の盛り上げや利用につながるイベント等の開催や、港北区商店街連合会が行う情報発信に対する支援を行いました。イベント参加者の約7割の方が初めて利用した店があると回答しており、商店街の更なる活性化に繋がりました。

加えて、コロナ禍においても商店街が柔軟に活動、情報発信ができるよう、商店街が実施する感染症対策に対し支援を行いました。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【予算：1,000,000円、決算：1,414,037円】

2年度、3年度は、システムを活用したデジタルスタンプラリーイベント「こうほくの商店街 ちよいより散歩」を実施しました。

4年度は、事業形態を変更し、どの年代の方にも気軽に商店街をお楽しみいただけるようスタンプ台紙を使つてのスタンプラリーを実施しました。(11月、12月)

【「こうほくの商店街 ちよいより散歩」への参加人数】

こうほくの商店街 ちよいつまみウォーク					
年度	開催日	参加商店街数	参加店舗数	当日参加者数 (申込者数)	参加費 (保険料等)
30	11月24日(土)	11	60	727人(823人)	300円/1人
元	11月23日(土)	11	56	-※ ¹ (1,009人)	300円/1人
こうほくの商店街 ちよいより散歩					
年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日(土) ～12月6日(日)	13	1,000 ※ ²	559人	無料
3	12月1日(水) ～12月26日(日)	13	92 ※ ³	552人	無料
4	11月14日(金) ～12月4日(日)	11	82	179人※ ⁴	無料

※1 元年度については荒天のため中止。

※2 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗募集は行っていません。

※3 3年度については、参加店舗募集を実施しました。

※4 4年度については、紙媒体で実施したため、全体参加者数ではなく抽選応募者数を記載しています。(スタンプ台紙配布数：5,500部)

2 商店街情報発信支援事業 【予算：200,000円、決算：19,800円】

商店街が新しい生活様式を踏まえた情報伝達や事業実施等の活動を展開していけるよう、港北区商店街連合会に対し、ICTの導入について支援をしました。

3 商店街衛生対策支援事業 【予算：400,000円、決算：144,000円】

コロナ禍においても、商店街活動をより安全に、安心して実施するために、港北区商店街連合会で購入した衛生対策品に係る経費について、補助金を交付しました。

[経済局区配予算]**・港北区商店街活性化イベント事業補助金 【予算：2,000,000円、決算：1,892,000円】**

商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助

(4年度申請団体)

- ・つなしまサマーフェスティバル実行委員会「つなしまサマーフェスティバル」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」
- ・小机商店街協同組合「今年も恒例Wチャンス&盆踊り」
- ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
- ・大倉山商店街振興組合「2022 大倉山ハロウィン」
- ・大倉山エルム通り商店会「大倉山エルム通り商店会 イルミネーション」

3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	971,000円	946,249円	24,751円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

コロナ禍で地域における健康測定会や地区のイベントの開催が少なくなる中、ウォーキング手帳や歩数計アプリミッションの開催により、感染症予防策を行いながらウォーキングの取組を実施しました。

歩数計アプリミッションには合計3,078人が参加し、コロナ禍の運動不足の解消とウォーキングや健康づくりに取り組むきっかけを創出することができました。

【主な内容】

1 ウォーキング継続推進 【予算：139,000円、決算：157,543円】

(1) 健康測定会の開催

港北区のイベントや、保健活動推進員の地区活動で実施しました。(年間15回)



【健康測定会】

【健康測定会の実績】

年度	30年度	元年度	2年度※ ¹	3年度※ ²	4年度
延べ人数	1,644人	1,353人	0人	195人	795人
実施回数	25回	24回	0回	11回	15回
実施内容	区民まつり、地区センターや地域ケアプラザまつり等で、体組成、血圧、足指力、立ち上がりテスト等を実施				

※1 2年度は29回の測定会を予定、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせ

※2 3年度は19回の測定会を予定、新型コロナウイルスの影響により8回の実施を見合わせ

(2) 測定会従事者の研修会の開催

1回実施しました。(11月 10人)

(3) ウォーキングサポーター（保健活動推進員）への活動支援

保健活動推進員からウォーキングサポーターを各地区で選出し、各地区におけるウォーキングイベントの企画及び実施について支援しました。

2 ウォーキング普及啓発事業 【予算：832,000円、決算：788,706円】

(1) 健康づくりのムーブメントの醸成

- ・よこはまウォーキングポイント（YWP）とコラボしたイベントを実施（7月、11月）
- ・ウォーキングサポーター（保健活動推進員）企画の同委員を対象とした健康ウォーキングイベント「歩こう港北！健康ウォーキング」を実施（12月）
- ・トレッサ横浜と連携した「雨の日でも楽しめるウォーキングマップ」イベントを実施（3月）
- ・「港北区ウォーキング手帳」やPR動画を活用した手軽な運動の普及啓発を実施



【歩数計アプリを利用したイベントのチラシ】



【歩こう港北！健康ウォーキング】



【雨の日でも歩こう港北！ショッピングモールで健康ウォーキング！】

【健康づくりのムーブメントの醸成に係る実績（4年度）】

イベント名	開催時期	参加者数等 実績
雨にもマケズ夏にもマケズ 港北ウォーキング2022（YWPコラボ）	7月	2,358名（達成者2,015名）
ウォーキングを始めよう！ 港北区スポット巡り（YWPコラボ）	11月	361名（達成者268名）
歩こう港北！健康ウォーキング	12月	52名
トレッサ健康ウォーキング （トレッサ横浜連携・YWPコラボ）	3月	359名（達成者322名）

局事業

【健康福祉局事業】

- ・よこはまウォーキングポイント事業
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始。
従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能。

《参考》

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】（5年3月末時点）

横浜市	港北区	
94,156人	8,934人	市の9.49% 区別順位1位

(2) ウォーキングの習慣化

- ・「港北区ウォーキング手帳」の更新・増刷（4,000部/3月）



【港北区ウォーキング手帳】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(4) 育もう「ふるさと港北」事業	8,715,000円	7,337,547円	1,377,453円
地域振興課	差引理由	小机城址まつり中止による補助金の減など	

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるための取り組みを行いました。ふるさと港北ふれあいまつりや大倉山観梅会等の世代間・地域間交流の場の提供、地域資源・歴史的遺産を活用した区民各層の交流の促進、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携など、港北区の魅力を内外にアピールしたことで「ふるさと意識の醸成」を進めました。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【予算：4,560,000円、決算：4,457,191円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催しました。

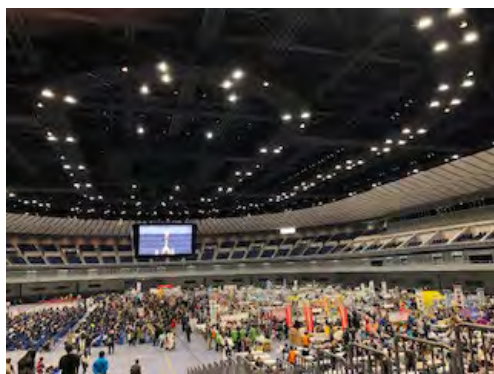
日時：11月23日 10時～15時

場所：横浜アリーナ

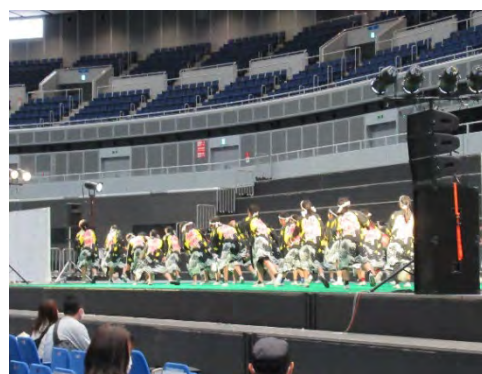
内容：ブース出店（活動紹介、体験、販売等）、ステージ発表（ダンス、合唱等）、抽選会

参加団体：ブース出店70団体（自治会町内会、商店街、地域活動団体、横浜F・マリノス、横浜GRITS等）、ステージ発表12団体（区内小中学校、地域活動団体等）

来場者数：約20,000人（「秋のヨコアリくんまつり」と合わせた延べ数）



【会場の様子】



【公募団体等によるステージ発表】

2 大倉山観梅会事業 【予算：1,150,000円、決算：1,095,046円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催しました。

実施時期：2月25日、26日

実施内容：舞踊、三曲演奏、地元の園児・団体のステージ、梅酒の販売、野点

来場者数：約90,000人（2日間）



【4年度 第35回大倉山観梅会】

[環境創造局区配予算]

- ・地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業 【予算：500,000円、決算：500,000円】
観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【予算：1,450,000円、決算：334,350円】

地域資源・歴史的遺産である小机城址を活用し、区民の「ふるさと」意識を育み、港北区への愛着を深めるとともに、港北区の魅力を外にアピールしました。

(1) 小机城址まつり

小机城址まつりを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でまつりが中止となったため、補助金は交付しませんでした。

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を配布し、区内小・中学校等での啓発を行いました。また、3年度から4年度に実施された発掘調査の様子を撮影し、今後の啓発に活用するための資料動画を作成しました。昨年12月にパシフィコ横浜ノースで開催されたお城EXPOにも出展し、小机城址の魅力発信に努めました。



【お城 EXPO2022】

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北条氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をもPRしました。

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【予算：550,000円、決算：550,000円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、港北区の歴史や見どころ等の映像の配信を行うウェブサイト「港北映像ライブラリ」の運営を行いました。

- ・新規映像作品の企画・制作（「綱島の民俗 『正月行事』」など13作品）
- ・映像配信サイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【予算：505,000円、決算：368,588円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みました。

- ・港北交通安全協会と連携して、区内の小学一年生向けにランドセルカバーを作製・配付
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信（広報よこはま港北区版7月号等）
- ・横浜F・マリノスの宮市選手による「一日区長」イベントの開催（11月）
- ・横浜GRITSの選手による区内中学生に向けた職業講話（11月、1月）



【横浜F・マリノス宮市選手の一日区長】



【横浜GRITSの選手による職業講話】

6 青少年活動支援事業 【予算：500,000円、決算：532,372円】

区民の親睦や連帯意識の高揚、家族のふれあいを深めるため、ペットボトルロケット大会を開催しました。（11月 鶴見川樽町公園）

- ・ペットボトルロケットの飛距離を競う飛距離部門。
- ・ペットボトルロケットのデザインを競うデザイン部門。



【大会の様子（4年度）】

【ペットボトルロケット大会参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ人数	中止	600人	中止	52人※	500人

※3年度はデザイン部門のみ開催

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(5) 地域のチカラ応援事業	3,100,000円	2,806,352円	293,648円
地域振興課	差引理由	コロナ禍での補助事業中止による減	

【事業の概要】

地域課題の解決に向けた地域住民による主体的な取組を支援するため、公益的な活動を行う団体に対して、補助金交付や広報、有識者からの活動に対する助言を行いました。

また、交流の場の提供や団体間の連携促進の取組みなどを行い、団体の自立した活動を支援することができました。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業活動補助金の交付等 【予算：2,738,000円、決算：2,472,260円】

(1) チャレンジコース

区内で活動実績がある団体の公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付しました。

【交付団体数・交付金額】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
団体数	19団体	18団体	6団体	7団体	15団体
金額	2,465千円	2,768千円	1,095千円	1,517千円	2,472千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行いました。

【承諾団体数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
団体数	8団体	7団体	3団体	8団体	4団体

【市民局区配予算】

・元気な地域づくり推進事業（新規申請募集停止）

・スタートアップコース：継続2事業 【予算 150,000円、決算 100,000円】

1団体最長2年間上限5万円

・地域元気づくりコース：継続2事業 【予算 750,000円、決算 429,809円】

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

	年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
スタートアップコース	団体数	9団体	10団体	4団体	4団体	2団体
	金額	354千円	418千円	175千円	200千円	100千円
地域元気づくりコース	団体数	6団体	4団体	5団体	3団体	2団体
	金額	1,237千円	624千円	854千円	643千円	430千円

2 団体間の連携促進の取組 【予算 362,000円、決算 334,092円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による公開提案会、報告会・市民活動交流会を開催しました。有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言や団体同士の交流会により団体間の連携をより深めました。

- ・公開提案会（4月 提案発表：6団体、参加者：24人）
- ・報告会、市民活動交流会（3月 18団体、参加者：32人）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）

補助金申請団体の活動に関して助言を行いました。



【地域のチカラ応援事業・公開提案会（4月実施）】

[市民局区配予算]

- ・元気な地域づくり推進事業

港北つなぎ塾（「協働」の地域づくり大学校） 【予算 458,000円、決算 392,622円】

地域のチカラ応援事業の補助金の交付や後援を受けた団体、まちの先生、区民活動支援センターの登録団体、区民利用施設が同じ目線で交流を深め、課題やお悩みを共有しながら、分からないことを聞いたり、気をつかわずに話せる場として、令和4年度の「港北つなぎ塾」を開催しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(6) 港北魅力発見事業	3,385,000円	3,253,467円	131,533円
区政推進課	差引理由	消耗品購入改善による減	

【事業の概要】

区民の地域への愛着を深めることを目的に、地域の特性や資源を活かしてその魅力を伝える取組を実施しました。オープンガーデンを開催することで、地域の方々の交流が生まれ、緑化に対する区民の理解を深めることができました。また、オープンファクトリーを4年ぶりにリアル形式で開催し、地域の魅力発見や製造業への理解促進に繋がりました。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン 【予算：2,400,000円、決算：2,357,948円】

第10回港北オープンガーデン（4月・5月 計6日間）の開催及び第11回イベントに向けた企画を行いました。



【港北オープンガーデン】



【子育て世代の参加を促すスタンプラリー企画】



【若者の参加を促すフォトスポット企画】

【港北オープンガーデンへの参加状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	延べ来場者数
30年度(第6回)	6日	87	約8,300人
元年度(第7回)	4日	100	約8,400人
2年度(第8回)※1	中止	107※2	—
3年度(第9回)	42日	114※3	※4
4年度(第10回)	6日	122	約9,000人

※1 新型コロナウイルスの影響により中止

※2 参加予定数

※3 現地公開(動画配信あり)91、現地公開(動画配信なし)20、動画配信のみ3

※4 参考数値：延べ約900人(25か所でカウント 2日間)

動画再生回数：43,834回(3年6月21日時点 全94動画合計)

【環境創造局区配予算】

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり【予算：1,500,000円、決算：1,485,216円】
第11回オープンガーデンのパンフレット作成及び参加会場交流会の実施

2 港北オープンファクトリー 【予算：985,000円、決算：895,519円】

港北区には市内18区で最多の1,100か所以上の工場があり、「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるために、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を4年ぶりにリアル形式で開催しました。



【第11回 リーフレット】



【第11回の当日の様子】



《参考》

【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	参加企業数	延べ参加者数	備考
30年度(第7回)	2日	11	267人	
元年度(第8回)	中止	13	—	新型コロナウイルスの影響で中止
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	ウェブサイト上で動画公開 ('おうち港北オープンファクトリー')
3年度(第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	4年ぶりにリアル開催

【第11回 港北オープンファクトリーの協力企業】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、(株)バネックス、(株)東京ダイス、(株)ヒートエナジーテック、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、横浜高周波工業(株) 計12社

【経済局区配予算】

- ・ものづくり経営基盤強化事業 【予算：400,000円、決算：400,000円】
港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費に充当しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(7) 芸術文化振興事業	2,000,000円	2,000,000円	0円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区内の芸術文化振興を図るため、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業と、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等を行う港北芸術祭の開催を支援しました。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【予算：2,000,000円、決算：2,000,000円】

(1) 鑑賞型事業

- ・Gentle Forest Jazz Band (10月 港北公会堂)

来場者数：554人



【鑑賞型事業 Gentle Forest Jazz Band】

- ・港北寄席(12月 港北公会堂)

来場者数：372人



【鑑賞型事業 港北寄席】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏（7月、8月 港北公会堂）参加者数：17人
- ・夏休み親子コンサート（8月 港北公会堂）来場者数：192人
- ・港北芸能大会（11月 港北公会堂）来場者数：203人
- ・港北三曲会演奏会（11月 港北公会堂）来場者数：195人
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月 港北公会堂）参加者数：11人
- ・港北美術展（3月 大倉山記念館）来場者数：4,659人
- ・オーケストラ体験教室（3月 港北公会堂）参加者数：29人

※新型コロナウイルスの影響で中止した事業

- ・港北区中学校生徒音楽会（10月 港北公会堂）
- ・港北区小学校児童音楽会（11月 港北公会堂）

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
来場者数 (閲覧者数含む)	9,168人	5,553人	2,741人	1,794人	6,232人
実施事業数	10事業	9事業	4事業	4事業	9事業

※元年度（1月以降）、2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響で、イベント開催を中止したことによる減

※2年度・3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ホームページ上でオンライン開催。

第16回港北美術展（2年度）（9月～12月 閲覧者数：891人）

（3月 閲覧者数：1,546人）

第17回港北美術展（3年度）（3月 閲覧者数：1,486人）

【にぎわいスポーツ文化局（文化観光局）区配予算】

- ・横浜芸術アクション事業（音楽） 【予算：500,000円、決算：500,000円】
鑑賞型事業「Gentle Forest Jazz Band」

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・5年3月末時点）】

漆原 順一	港北区長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
川島 武俊	港北区連合町内会会長
五大 路子	女優
塩坂 靖子	押し花作家
芳賀 美穂	声楽家
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》

各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行いました。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（11月 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（11月 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月 港北公会堂）
- ・こうほく第九演奏会（12月 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月 港北公会堂）
- ・港北シンフォニーコンサート（1月 みなとみらいホール）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
来場者数	12,457人	14,777人	2,117人	5,237人	10,805人
実施事業数	9事業	11事業	2事業	4事業	7事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(8) 区民活動支援事業	1,678,000円	1,500,217円	177,783円
地域振興課	差引理由	市民グループ・団体支援事業の開催方法の変更による減	

【事業の概要】

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区域の中間支援組織である区民活動支援センターが市民公益活動と生涯学習を支援しました。

アフターコロナの活動再開について、他団体の事例や行政情報等を提供することで活動の後押しをしたことにより、団体が安心して活動を進めることができました。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【予算；343,000円、決算：264,937円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出しなどを行いました。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【予算 955,000円、決算 989,550円】

区民活動の喚起のため、団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を発行しました。より多くの方々に知っていただくために区内の区民利用施設等に配架しました。

- ・装丁 A4版 6ページ、年6回発行(3,500部/回)

3 市民グループ・団体支援事業 【予算 320,000円、決算 223,840円】

- ・ICT講座を開催しました。(8月、9月)
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催しました。(11月、1月、2月、3月)
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「つながるカフェ」を開催しました。(11月、12月)
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催しました。(12月)

4 区民活動支援センターICT化事業 【予算 60,000円、決算 21,890円】

「グループ・団体ガイド」を紙媒体からWebでの発信に切り替えました。窓口相談の際にもタブレットPCの画面を提示しながらWebデータをご案内し、区民活動支援センターのICT化を図りました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(9) 地域振興活動事業	2,840,000円	2,567,896円	272,104円
地域振興課	差引理由	自治会町内会への資料送付の運搬費の減 など	

【事業の概要】

行政情報を効率良く地域に提供するため、区連合町内会等の資料を各自治会・町内会に送付したことで市政及び区政を円滑に進めることができました。また、普段より地域活動に従事している自治会町内会長の功績を讃え、永年在職者を表彰したことで地域と行政とのつながりを強化しました。

【主な内容】

1 通知・回覧物の送付 【予算：1,340,000円、決算：809,346円】

広く区民に情報提供をするため、区連会資料や通知等を自治会町内会へ送付しました。
(年10回(8月・12月除く月1回))

2 自治会町内会長感謝会の開催 【予算：1,000,000円、決算：1,164,550円】

自治会町内会長の労をねぎらうため4年ぶりに感謝会を実施し、区内式場にて永年在職者勤続表彰及び記念品の贈呈を行いました。

- ・令和4年度港北区自治会町内会感謝会(被表彰者24人)

開催日 : 3月9日

開催会場 : ソシア21

参加者 : 88人(表彰者含む)

表彰者 : 単会被表彰者 計23人 25年表彰1人、20年表彰1人、15年表彰3人、
10年表彰5人 5年表彰13人

連合被表彰者 計1人 10年表彰1人

(参考: 昨年度表彰者 17人)



【表彰者記念写真】



【表彰式】



【感謝会】

3 IT・ICT支援事業 【予算：500,000円、決算：594,000円】

地区連合町内会単位でICT講座を開催しました。

ICT講座	3年度	4年度
実施団体	2	7
実施回数	2	14



【ICT講座】

[市民局区配予算]

- ・ 地域活動推進費【予算：98,919,000円、決算：98,019,830円】
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・ 防犯灯維持管理費補助金【予算：869,000円、決算：862,400円】
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助

《参考》

地域活動推進事業

- ・ 区連会ホームページの更新
- ・ 自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発ごみ袋の作成
- ・ 自治会町内会区域図の提供
- ・ 区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取次ぎ
- ・ 広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・ まつりイベントへの広告掲載
- ・ 建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・ 「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ&Aの掲載）
- ・ デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の配信



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発ごみ袋】



【加入促進動画】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) 読書活動推進事業	800,000円	798,755円	1,245円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区の地域特性に応じた読書活動を推進するため、「第二次港北区読書活動推進目標」に沿った取組や、日吉図書取次所「日吉の本だな」を活用した情報発信等を実施し、区民が読書に親しむ機会を創出しました。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【予算：150,000円、決算：139,826円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しました。

(1) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室
物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を実施しました。
(7月、8月 港北図書館 参加者数延べ14人)



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本とであおうイベント

- ・ヨコアリくんまつり（ふるさと港北ふれあいまつり同時開催）
読書活動推進月間中の取組として、横浜アリーナ「秋のヨコアリくんまつり」に、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出展しました。港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演などを実施しました。

(11月23日 横浜アリーナ ふるさと港北ふれあいまつり・ヨコアリくんまつりあわせて延べ約2万人)



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひざにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場にて配布しました。

2 読書情報発信事業 【予算：430,000円、決算：639,297円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しました。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・図書取次機能に加えた読書関連情報等の発信として、図書の企画展示やパネル展示、図書館カード出張登録会を実施しました。

（月替展示10件、通年常設展示2種類、図書館カード出張登録会8回）

- ・地域交流、多世代交流の場として、区民活動支援センター出張相談会や「まちの先生」による朗読会、各種体験会を実施しました。（出張相談会23回649人、体験会等5回29人）

- ・日吉の本だなや港北図書館で利用できるサービス等を紹介したPR動画を制作しました。

（2月公開 計3本）

- ・港北図書館司書がテーマを決めた図書をトートバッグに入れ、中身が見えないようにして貸し出す「中身はないしょ！の本セット」を日吉の本だなと港北図書館で実施しました。

（3月～ 日吉の本だな50セット、港北図書館100セット）



【まちの先生による朗読会】



【まちの先生（小学生）によるあやとり体験会】

(2) 各施設からの情報発信等

図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介や区内図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を引き続き配布しました。



【港北区本との出会いマップ】

(3) 蔵書情報等の発信

図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやツイッター等ICTを活用して発信しました。

3 読書団体連携事業 【予算：220,000円、決算：19,632円】

図書館、関連施設、地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しました。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会を開催し、各施設の取組の共有等を実施しました。（6月 港北図書館 出席者数13機関17人）

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施しました。（6月 港北図書館 参加者数15団体24人）



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバル（イベントカレンダーまとめ）

読書活動推進月間に区内施設等の開催行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました。（11月）

[教育委員会事務局区配]

- ・横浜市民の読書活動推進事業 【予算：100,000円、決算：100,000円】
区づくり推進費と合算して、読書活動推進啓発用シールを作製しました。

《参考》

【第二次港北区読書活動推進目標】

- 〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進
- 〔目標2〕だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進
- 〔目標3〕図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進
- 〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(11) こうほく3R推進事業	1,249,000円	1,199,317円	49,683円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

ヨコハマ3R夢プランをはじめ、世界的に問題となっている食品ロスやプラスチックごみ問題等について、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して3Rの推進に取り組み、ごみの減量・街の美化に繋がりました。

【主な内容】

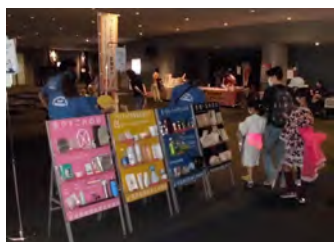
1 3R夢行動の推進 【予算：994,000円、決算：871,837円】

(1) 3R夢行動・清潔で美しい街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔で美しい街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等の表彰式を実施しました。(2月)

(2) 3R夢推進事業

- ・3R夢普及啓発
地域イベント、大型スーパー店頭、分別啓発地域説明会
ヨコアリくんのミニ七夕まつり！(7月)、ふるさと港北ふれあいまつり(11月)
- ・食品ロス削減の取組
生ごみ減量化の土壌混合法説明会(6月、7月、9月、10月、11月)
フードドライブの受付及び啓発
「食品ロス削減！食材使い切りレシピ」動画の作成



【ヨコアリくんの
ミニ七夕まつり！】



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【土壌混合法説明会】

(3) 3R夢学習事業

区民向け啓発講座、保育園、小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習を実施しました。(9回)



【保育園での出前講座】



【小学校での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、3R夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金の交付をしました。(年額3万円)
- ・環境事業推進委員への支援

[資源循環局区配予算]

- ・ヨコハマ3R夢広報啓発事業 【予算：100,000円、決算：100,000円】
啓発物品の購入費

《参考》

【港北区の家庭ごみ収集量(単位：トン)】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
燃やすごみ	47,559	48,314	50,001	48,362	47,275
その他	24,534	24,205	24,985	24,186	23,246

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量(不法投棄等)と資源化量の合計値です。

2 街の美化の推進 【予算：255,000円、決算：327,480円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅等)(10月、11月、3月)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(11月))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)
日吉駅周辺清掃(10月、3月) ほか



【日吉駅周辺一斉清掃】

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理を実施しました。

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【予算：1,619,000円、決算：905,859円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進しました。

- ・新横浜駅周辺(美化推進重点地区及び喫煙禁止地区)
港北区美化推進員活動(週3回)
- ・日吉駅周辺(美化推進重点地区)
港北区美化推進員活動(週2回)

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(12) 港北エコアクション推進事業	3,076,000円	3,054,956円	21,044円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めました。港北区直売所マップの更新及び配布、区ツイッターでの情報発信により、区民がより一層地産地消に関心を持ち、推進するきっかけをつくることができたほか、港北水と緑の学校の環境防災学習講座の実施や学習成果の展示会を通じて、港北区の豊かな自然や地球温暖化への区民の理解を深めることができました。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【予算：2,600,000円、決算：2,545,000円】

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しました。

- ・区内小学校向け講座（6～11月）
- ・一般向け講座（10～12月）
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）



【区内小学校向け講座】



【一般向け講座】



【小学生の学習成果の展示会】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実施回数	20回	20回	18回	18回	20回
小：小学校向け講座	(小18回、	(小18回、	(小18回)	(小18回)	(小18回、
一般：一般向け講座	一般2回)	一般2回)	※	※	一般2回)
延べ参加者数	1,763人	1,904人	1,242人	1,702人	1,301人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

【環境創造局区配予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【予算：150,000円、決算：150,000円】
一般向け講座等にて、参加者が森に親しむ体験活動を実施

2 屋上庭園等運営事業 【予算：300,000円、決算：291,485円】

屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しました。

- ・区庁舎及び太尾小学校

3 港北エコアクション推進事業 【予算：176,000円、決算：218,471円】

広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発をしました。

【環境創造局区配予算】

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業 【予算：600,000円、決算：599,225円】
港北区直売所マップの更新・増刷等を実施

港北区直売所マップ

- ・区内の野菜・果物・花苗等の直売所、よこはま地産地消サポート店等を紹介。
(1月発行 11,000部)
- ・区役所等公共施設、区内直売所等で区民に対して配布。区ホームページにも掲載。



【港北区直売所マップ（4年度）】

3-(13) データ活用によるまちづくり推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(13) データ活用による まちづくり推進事業	3,230,000円	2,980,000円	250,000円
区政推進課	差引理由	「統合型GIS」の活用によるライセンス契約料の残 など	

【事業の概要】

区が直面する課題を官民協働で分析・解決し地域の活性化を図っていくことを目的に、区の統計情報を適切に管理し、オープンデータ化を進める体制を整備するとともに、データ活用の推進に向けた事業を展開しました。應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）と連携してシステム×デザイン思考を活用したワークショップを実施したことで、地域課題への理解促進や解決に向けたアイデア創出につながったほか、先進的かつモデル的な取組として、データ活用の意識を醸成することに繋がりました。

【主な内容】

1 データ活用普及推進事業 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000円】

慶應SDMと連携し、データ活用への興味につなげる取組を実施しました。高田中学校3年生の社会科の授業の一環として、「10年後、身の回りで水害が発生した時に誰もが安全でいられるようにするには？」をテーマにワークショップを開催しました。また、ワークショップでは、対話やフィールドワークを通じて、「システム×デザイン思考」やデータに基づく課題の抽出と解決方法の創出に取り組みました。



【ワークショップの様子】



【成果発表会の様子】



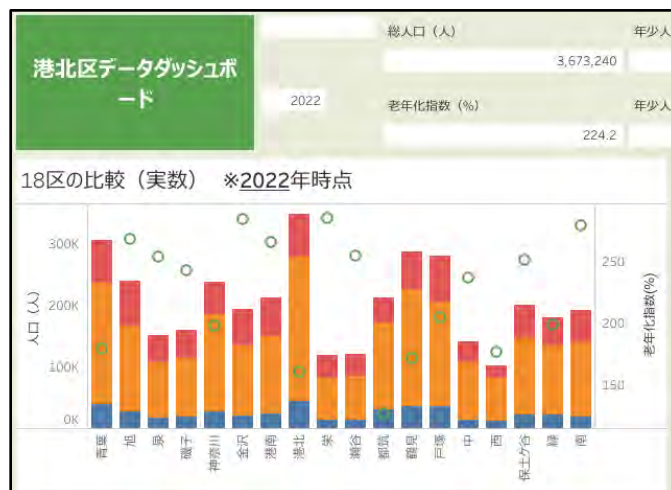
【実施内容】

年度	実施内容
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツデータサイエンス体験教室 ・横浜港北スポーツみらいサミット2019
元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツデータサイエンス体験教室 ・スポーツデータ×タグラグビー授業
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「システム×デザイン思考」の実践を通じて地域課題の解決を学ぶワークショップ

2 地域情報データベース 【予算：2,000,000円、決算：1,980,000円】

(1) 区の統計情報等のオープンデータ化の推進及びダッシュボードの公表

市民や企業、NPO、大学などの多様な主体と港北区の姿を共有し、区民参加・公民連携による地域課題の解決や経済活性化を図るために、数字の羅列だけではわかりにくいデータを、直感的にわかりやすい形で「見える化」するダッシュボードを作成し、公表しました。(3月)



【ダッシュボードのイメージ】

(2) 職員向けデータ活用研修

職員向け研修を実施し、データを重視した事業実施を推進しました。(10月、1月)

3 GISの活用推進事業 【予算：230,000円、決算：0円】

3年度末に導入された庁内共通のGISシステム「統合型GIS よこはまマップ」や庁内講師を活用することで、区独自のライセンス契約及び研修受講が不要となったため、執行を見送りました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(14) まちづくり調整費	2,690,000円	1,157,975円	1,532,025円
区政推進課	差引理由	区配予算の活用等による委託料の不用など	

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決に向けた、調査や関係機関との調整を行いました。4年度は港北区民文化センターの愛称を区民投票により決定することで、5年度の港北区民文化センター開館に向けて機運醸成を図るとともに、より区民から愛着を持たれる施設となることに繋がりました。

【主な内容】

- 1 まちづくり調査費・まちづくり調整事務費 【予算：2,490,000円、決算：948,975円】
区の課題に合わせたまちづくり調整を実施しました。

【これまでに実施したまちづくり調査等】

年度	実施内容
30年度	篠原城址緑地の魅力発信のための整備図作成
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	S I B本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	-※

※4年度は、区配予算の活用や事業者との協議等により、予算執行を伴わない対応を行ったため、まちづくり調査費の執行はありませんでした。

- 2 区民文化センター愛称募集 【予算：200,000円、決算：209,000円】

6年3月に開館する予定の区民文化センターが、より区民から愛着を持たれる施設となるために、区民から募集した愛称の中から区民投票を実施し、「ミズキーホール」という愛称を決定しました。

愛称募集 3年12月22日～4年1月31日
区民投票 4年5月20日～6月30日
記者発表 4年8月19日
開館 6年3月



【区民文化センター ホールイメージ】

《参考》

港北区民文化センターの基本理念「ハートでつながる 私たちのまち」



【基本理念イメージ図】

区局連携促進事業（都市整備局）

- ・日吉駅（西口）周辺のまちづくりの推進事業 【予算：10,000,000円、決算：9,999,000円】

歩行者の安全の確保等が課題となっている日吉駅西口周辺について、歩行空間の確保等に向けたまちづくり手法を検討します。4年度は、アンケート調査等の結果を基に、社会実験計画の作成・実施及び効果検証を行いました。

区局連携促進事業（教育委員会事務局）

- ・図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000円】

日吉図書取次所（日吉の本だな）が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行いました。（区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民の活動の場の提供やコーディネート、区民活動支援の一次対応など）

[デジタル統括本部区配予算]

- ・DX推進モデル事業（デジタルプラス事業）

（産前産後オンライン母子保健相談） 【予算：4,500,000円、決算：4,494,600円】

<オンライン健康医療相談サービスを活用した検証>

子育て世帯の多い港北区において、妊産婦及び0歳児を育てる家庭を対象に夜間等にオンラインで専門の医師等に相談ができる「オンライン母子保健相談事業」を実施し、産後うつ等のリスク軽減を図りました。

[道路局区配予算]

- ・港北区バリアフリー基本構想の策定 【予算：216,770円、決算：216,770円】

バリアフリー法に基づき、新横浜駅、小机駅、大倉山駅の各駅周辺地区を対象に、高齢者・障害者・子育て中の人等、誰もが円滑に移動し、駅や施設を快適に利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想の検討を行います。4年度は、まち歩き点検等を行い、地区の課題とその対応策について検討を進めました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(1) 港北区PR情報発信事業	2,110,000円	1,820,909円	289,091円
区政推進課	差引理由	啓発物品の見直しによる残	

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営しました。また、区内転入者等に対して区域の生活に密着した情報等を盛り込んだ地図情報を提供しました。各種イベントの開催が始まったことにより、港北区ミズキー着ぐるみ利用実績が大幅に増加し、広くミズキー及び港北区を周知できました。

【主な内容】

1 情報発信事業 【予算：1,210,000円、決算：1,020,989円】

ウェブサイトやツイッター等を利用し、災害等の緊急情報やイベント情報、区の魅力等様々な情報を、ツイート時間等を工夫しながら発信しました。

また、区キャラクター「港北区ミズキー」について、相鉄・東急直通線の開業や市営地下鉄グリーンラインの6両化等の機会を捉え、露出機会を増加させることで、区をPRしました。



【港北区ミズキー】

【港北区ウェブサイトアクセス件数・ツイッターフォロワー数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
アクセス件数	約298万件	約309万件	約350万件	約300万件	約250万件
フォロワー数	約5,700人	約7,700人	約8,800人	約10,200人	約10,700人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
利用件数	24件	42件	10件	7件	21件

2 港北区ガイドマップ作製・配布事業 【予算：900,000円、決算：799,920円】

転入者等に向けて、区内の公共施設など生活に必要な情報を盛り込んだ区域の地図「港北区ガイドマップ」12,000部を発行し、提供しました。



【港北区ガイドマップ】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4 - (2) 戸籍課案内サービス向上事業	5,200,000円	4,765,673円	434,327円
戸籍課	差引理由	電話案内事業の単価減 など	

【事業の概要】

来庁者の待ち時間の短縮や、待合フロアの混雑の緩和のため、web発券システムの広報や、戸籍課登録担当内の電話対応の一部を委託化することにより、区民サービスの向上を図りました。

また、窓口で転入者等にお渡ししている転入者キット（暮らしのガイドに市政・区政情報を差し込んだもの）について、区内障害者施設に作成を依頼して、作業の効率化等を図りました。

【主な内容】

1 電話案内事業 【予算：4,540,000円、決算：4,109,074円】

窓口の繁忙期に電話対応の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図りました。（4年4月～5年3月）

- ・電話オペレーター配置日数：計251日間
- ・繁忙期の5年3月は2人、その他期間は1人配置

【電話案内業務】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
電話受付件数	4,101件	5,486件	11,286件	16,029件	15,899件
オペレーター配置日数	40日	59日	127日	252日	251日
延べ配置人数	65人	115人	280人	309人	288人

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

2 転入者キット作成事業 【予算：460,000円、決算：446,776円】

市政・区政情報や地域情報、イベント情報などを差し込んだ転入者キットの作成を障害者施設に委託し、作業の効率化を図りました。（4年4月～5年3月）

- ・作製数：7,000部（3年度と同部数作製）

【転入者キット作製数（4年度）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400部	600部	600部	600部	400部	800部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
600部	400部	400部	600部	800部	800部

3 窓口の分散利用広報事業 【予算：200,000円、決算：209,823円】

窓口の繁忙期にあわせ、窓口の分散利用、web発券システムの利用促進及びマイナンバーカードの利用促進の広報を行いました。

- ・地域紙等を活用した広報（2月）
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシの配架（2月、延べ53箇所）

《参考》

【web 発券システムについて】

- ・運用開始：5年1月16日から運用開始（2月1日から本格運用）
- ・運用窓口：戸籍課登録担当の住所異動（転出入や転居）や印鑑登録の窓口において運用（21番窓口）
- ・利用時間：平日の9:30～16:00（窓口開庁時間 8:45～17:00）
- ・導入価格
web 発券機及び戸籍課登録担当窓口呼び出しシステムなどで約2,500,000円
（毎年の維持管理費 約260,000円）
- ・すでにweb 発券機を導入している区役所
青葉区役所戸籍課登録担当（4年3月8日導入）

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

	31年3月末	2年3月末	3年3月末	4年3月末	5年3月末
人口(A)	347,081人	349,652人	351,554人	352,694人	355,442人
世帯数(B)	170,863世帯	173,235世帯	175,307世帯	176,636世帯	179,337世帯
平均世帯人員(A/B)	2.03人	2.02人	2.01人	2.00人	1.98人

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
市外からの転入者	14,622人	15,070人	14,451人	14,254人	14,868人

※転入世帯数（4年度）

14,868人（市外からの転入者数）／1.98人（平均世帯人員）＝7,509世帯（推計）

【市民局区配予算】

- ・社会保障・税番号制度対応事業 【予算：25,804,000円、決算：25,804,000円】
戸籍課窓口に加え、「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」におけるマイナンバーカードの申請及び交付の実施（3年1月25日開設）

4-(3)「仕事力向上」職員育成事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	700,000円	630,298円	69,702円
総務課	差引理由		

【事業の概要】

4年度の区運営方針に掲げる5つの仕事力(「聴く力」、「考える力」、「学ぶ力」、「行動する力」、「伝える力」)を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS(顧客満足度)・ES(職員満足度)向上の意識づけができました。

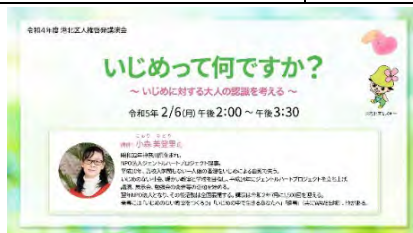
【主な内容】

- 1 CS・ES向上研修 【予算：500,000円 決算：379,500円】
 - (1) 新採用・転入職員向けCS向上研修(4月 参加者実数：44名)
新採用・転入職員に窓口・電話対応研修を実施しました。
 - (2) 会計年度任用職員向けCS・ES向上研修(6月 参加者実数：17名)
会計年度任用職員向けにアンガーマネジメント研修をしました。
 - (3) 事務処理ミス防止研修(10月 参加者実数：68名)
責任職及び職員に事務処理ミス防止研修を実施しました。
 - (4) 中堅職員向けCS・ES向上研修(12月 参加者実数：17名)
中堅職員(職員Ⅱ以上)に研修を実施しました。

- 2 人権啓発講演会 【予算：200,000円 決算：250,798円】
市民、職員向けの人権啓発講演会を実施しました。(2月 参加者実数：約250人)

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者(実数)
30年度	避難所で本当に命と健康守れますか!? 高齢者・障害のある方・女性・子どもなどの視点から	浅野 幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)	約400人
元年度	災害時のトイレ問題について一緒に考えませんか?～災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう～	加藤 篤(NPO法人日本トイレ研究所代表理事)	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止※ (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区HPに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4年度	「いじめって何ですか?」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里(NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人



【4年度人権啓発講演会】

4 区民サービス向上に向けた取組

4-(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(4) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	9,867,000円	17,461,460円	▲7,594,460円
総務課	差引理由	レイアウト変更の実施による増 など	

【事業の概要】

区庁舎をはじめとした区内の区民利用施設等について、利用者が快適に過ごせる環境づくりのため、施設の機能強化や新型コロナウイルス感染防止対策を実施したことで、施設の利便性を向上させました。

【主な内容】

- 1 区庁舎等の環境改善・機能強化 【予算：6,850,000円、決算：15,472,887円】
区民がより快適に利用できるよう、区庁舎等の環境改善・機能強化を図りました。
 - ・3階レイアウト変更
 - ・2階待合ソファの更新
 - ・感染症対策のための消毒作業委託・消毒液の購入
 - ・バリアフリー改善のための中庭グレーチング交換
 - ・2階フロアのWi-Fi通信費

- 2 区民利用施設の環境改善・機能強化 【予算：3,017,000円、決算：1,988,573円】
 - ・区民利用施設の環境改善・機能強化のための委託やリース
日吉地区センター別館スライディングウォール上吊車交換
小机スポーツ会館テニスマシンの購入
日吉台中学校コミュニティスクール施設掲示板設置
 - ・子供の遊び場等の樹木伐採・剪定

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	12,345,000円	11,099,674円	1,245,326円
区政推進課	差引理由	デザイン編集委託費の契約残による減など	

【事業の概要】

区の事業や区役所・区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま市版と併せて発行し、主に自治会町内会を通じて各世帯に配布しました。区の施策や周知事項をより効果的に伝えるため、紙面構成の見直しや写真・イラスト等の活用、地域の情報や人物等の掲載を行いました。

【主な内容】

広報よこはま区版作成 【予算：12,345,000円、決算：11,099,674円】
 広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区のウェブサイトへの掲載やツイッター等で情報を発信しました。

- (1) **発行**
 毎月1日、年12回
 1,724,000部（143,000部/月）発行

- (2) **仕様**
 タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) **紙面構成**

- ・特集、トピックス記事
 区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
【4年度】 6月号特集 「読んで納得！住民税～よくある質問にお答えします～」
 10月号特集 「眠っている食品はありませんか？フードドライブで食品ロス削減」
 3月号特集 「相鉄・東急直通線開業 新駅周辺の『これから』」
- ・お知らせ記事
 区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

(4) **港北福祉保健センターからのお知らせ**

- 発行：年1回（5年4月号に挟み込み）
- 仕様：4色刷り、4ページ
- 内容：検診日程等

(5) **その他**

- 4年度からは次の取組により、より分かりやすく情報を届けました。
- ・区内職員を対象にデザイン基礎研修を実施しました。（9月）
- ・お知らせ面をより洗練されたデザインへ変更しました。（11月）
- ・お知らせ面の余白を活用したバナー記事を掲載しました。（8月、12月、3月）
- ・連載「バス停でたどる港北の歴史」の連載を開始し、掲載しました。（9月、1月）



【広報よこはま区版】



【バス停でたどる港北の歴史】

【広報よこはま区版発行部数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
年間部数	164万部	166万部	166万部	172万部	172万部
月平均部数	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部	14.3万部

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,092,000円	2,013,693円	78,307円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた区民の提案・意見などを受け付けて、回答するとともに内容を公表することで、市民の信頼に応える市政の推進ができました。

【主な内容】

1 特別相談事業 【予算：2,092,000円、決算：2,013,693円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。

【特別相談一覧】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日、 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理（140万円以下）、不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1・3火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数（単位：件）】

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
特別 相談	法律相談	471	482	435	420	448
	司法書士相談	131	135	40	57	70
	公証相談	31	24	10	8	14
	交通事故相談	19	13	2	6	4
	行政相談	23	8	0	0	5
広聴事業		535	709	1,083	1,049	800
窓口案内		80,041	77,003	62,343	61,006	57,908

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 消費生活推進事業	184,000円	113,960円	70,040円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

悪質商法等の消費者被害の防止のため、消費生活推進員の活動を支援するとともに、区民向けの講座を通して、地域の消費生活環境の安定・向上につなげました。

【主な内容】

1 学習・啓発 【予算：144,000円、決算：79,960円】

(1) 区民向けの啓発

・「こうほく消費者のつどい～高齢者専用ホームの基礎知識～」(10月 港北公会堂)

区民及び消費生活推進員を対象とした悪質商法未然防止に役立つ講演会を横浜市消費生活総合センターとの共催で開催しました。



【こうほく消費者のつどい】

・港北図書館での啓発活動(2月)



【パネル展】

【紙芝居による啓発】

(2) 広報紙「あゆみ」の発行

消費者被害未然防止等の啓発や推進員の活動の周知を目的とした広報紙「あゆみ」を作成しました。(3月)

2 地域活動支援 【予算：40,000円、決算：34,000円】

区内全域を対象として広く啓発を行っていくため、関係団体と連携した啓発活動を進めるなど、消費生活推進員が行う消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座の開催を支援しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,968,000円	3,570,612円	397,388円
地域振興課・こども家庭支援課	差引理由	自然体験教室の中止による減 など	

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援しました。
また、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化を推進しました。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【予算：2,988,000円、決算：2,590,612円】

- ・第28期港北区青少年指導員協議会研修会（6月）
- ・自然体験教室（9月（天候不良により中止））
- ・広報誌の発行（11月、3月）

【自然体験教室の実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度 3年度	4年度
実人数	135人	96人	中止※1	65人※2
実施場所	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森		ソレイユの丘
実施内容	クラフト体験	・森に関する講義 ・植樹体験 ・植物観察		天候不良 により中止

※1 2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により中止

※2 申込者数



【第28期港北区青少年指導員協議会研修会】



【広報誌（港北青指第49号）】

2 社会環境健全化事業 【予算：80,000円、決算：80,000円】

- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月）

3 学校・家庭・地域連携事業 【予算：900,000円、決算：900,000円】

学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ交付金を交付

交付金活用事例：防犯対策・パトロール、地域環境美化・クリーン活動、緑化運動 等



資料2

令和5年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和5年9月5日
港 北 区

令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和5年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	予算額	執行額	執行率 ※7月末時点
(1) 自主企画事業費	109,455	60,924	55.7%
(2) 統合事務事業費	54,699	36,637	67.0%
統合事務費	30,664	13,853	45.2%
統合事業費	24,035	22,784	94.8%
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	609,058	582,158	95.6%
合 計	773,212	679,719	87.9%

2 内訳

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位:千円)

区 分	予 算 額	執行額	執行率	主な事業名
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	34,353	16,487	48.0%	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	21,262	12,215	57.4%	・地域子育てサポート事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業
3 活気にあふれるまちづくり	37,028	22,743	61.4%	・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業
4 区民サービス向上に向けた取組	16,812	9,479	56.4%	・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業
合 計	109,455	60,924	55.7%	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	予算額	主な事業内容
統合事務費	30,664	・区役所業務の事務経費
統合事業費	24,035	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業
合 計	54,699	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	予 算 額	施設、事業内容
区庁舎等	128,974	・港北区総合庁舎 ・行政サービスコーナー(2か所) ・港北区区民活動支援センター ・港北土木事務所
公会堂	25,306	・港北公会堂
地区センター・スポーツ会館	242,585	・地区センター(6か所) ・小机スポーツ会館
ログハウス	9,663	・綱島公園こどもログハウス
区民文化センター	28,488	・港北区民文化センター
老人福祉センター	44,307	・老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス	86,557	・コミュニティハウス(3か所) ・学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
スポーツセンター	24,950	・港北スポーツセンター
広場・遊び場	1,048	・広場・遊び場等(13か所)
国際交流ラウンジ	15,680	・港北国際交流ラウンジ
区民利用施設修繕費	1,500	・小破修繕等
合 計	609,058	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

事業名	掲載頁
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4
(2) 災害時医療整備事業	10
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	12
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	13
(5) 放置自転車対策事業	16
(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	18
(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	20
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	22
(2) 地域子育てサポート事業	23
(3) 保育所支援・情報提供事業	29
(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	30
(5) 離乳食教室	31
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	33
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	37
3 活気にあふれるまちづくり	
(1) 地域スポーツ推進事業	38
(2) 港北区商店街活性化事業	40
(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	42
(4) 育もう「ふるさと港北」事業	44
(5) 地域のチカラ応援事業	48
(6) 港北魅力発見事業	50
(7) 芸術文化振興事業	52
(8) 区民活動支援事業	55
(9) 地域振興活動事業	56
(10) 読書活動推進事業	58
(11) こうほく3R推進事業	61
(12) 港北エコアクション推進事業	63
(13) データ活用によるまちづくり推進事業	65
(14) まちづくり調整費	67
4 区民サービス向上に向けた取組	
(1) 港北区PR情報発信事業	69
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	70
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	72
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	73
(5) 区民利用施設環境改善事業	74
《参考》統合事業費	
広報よこはま区版発行事業	75
広聴相談事業	76
青少年活動支援事業	77
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	7
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	39
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	62
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	77

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(1) 災害に強いまちづくり 推進事業	23,184千円	9,444千円	40.7%
総務課			

【事業の概要】

災害発生時の被害を最小限にとどめるために、区民全体の防災意識の向上を目指し、各種啓発事業を実施するとともに、様々な媒体を用いて防災情報を提供し、自助・共助の取組を支援します。また、災害時の避難所運営体制を強化するため、研修・講習を実施します。さらに、区本部の体制を強化するため、各種訓練を実施します。

【主な内容】

1 デジタル技術を活用した災害対策事業 【(5) 4,030千円、(4) 2,475千円】

(1) 区独自の防災情報ポータルサイトの作成《新規》

区民が防災に関する情報をワンストップで確認することができるように、気象情報、避難情報や自助・共助の取組に役立つウェブサイト等へのリンクが集約された区独自のポータルサイトを作成、公開します。(1月)

(2) 動画配信サイト(YouTube)等を活用した防災啓発《新規》

スマートフォン等を中心に情報収集を行う若年層の防災意識を醸成するため、防災啓発を目的とした動画を作成し、YouTubeの広告機能等を活用して、災害への備えの重要性や各種防災啓発イベントの周知等を行います。

動画は、「風水害」「地震」等のテーマ別に作成し、8月から順次公開しています。

(3) 港北区防災情報アプリの運用

スマートフォンで災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」(以下「区防災アプリ」という。)を継続して運用しています。

なお、5年4月から総務局危機管理室により「横浜市避難ナビ」の本格運用が開始されたため、区民の利便性を考慮し、「区防災アプリ」は5年度をもって発展的に解消します。

10月以降、区防災アプリ画面上に「区防災アプリ」の終了と「横浜市避難ナビ」の紹介を表示する等、利用者へのご案内を丁寧に行います。

【ダウンロード数(5年7月末)】

26,539件 (iOS, Android)

※5年3月末時点 25,994件

(参考)

横浜市避難ナビのダウンロード数 5年7月時点 約58万件

2 自助・共助の啓発事業 【(5) 10,500千円、(4) 6,310千円】

関東大震災の発生から100年を迎えることを契機に、自助・共助の意識を一層向上させるため、次の取組を行います。

(1) 港北区防災大使の任命《新規》

区にゆかりのある著名人として、お笑いコンビ「ぺこぱ」のシュウペイさんを「港北区防災大使」に任命しました。

「港北区防災大使」は災害への備えの重要性や区が行う防災関係事業を周知するため、防災啓発動画や、広報よこはま港北区版9月号の防災特集記事にナビゲーターとして登場します。



【港北区防災大使 シュウペイさん】

(2) 区民、区内事業者と連携した防災啓発活動《新規》

区民や区内事業者と連携した各種防災啓発イベントを実施します。

- ・「港北シェイクアウト！」(9月)

大規模地震発生時の安全確保行動を、区民や区内事業者の参加を募り、一斉に実施します。

- ・商業施設等と連携した防災啓発イベント

区内の大規模商業施設等と連携した啓発イベントに出展し、啓発活動を行います。

【出展する防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	主な啓発実施内容
9月2日(土) 3日(日)	トレッサ横浜	トレッサ防災フェス 2023	パネル展示、 ワークショップの実施 等
11月25日(土)	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月10日(日)	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア 2024	

(3) がけ地相談会の実施《新規》

区内における崖地周辺の土地所有者の適切な対応につなげるため、専門家が対応する相談会を区独自に実施します。(9月13日(水)及び12月の計2日間、計12組)

(4) 港北支えあい防災教室の実施《新規》

要援護者に関わるケアマネージャーや、要配慮者施設(高齢者施設、保育所等)の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴を踏まえた知識を得ることができるよう、講習会を実施します。(計3回 7月～2月)

福祉施設従事者を対象に、施設における災害への備えや、訓練の実施等について、防災と福祉の両面に知見を有する講師の経験談を踏まえた講演を実施しました。

(7月27日、参加者41人)

(5) 防災キャラバン等の実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等で、専門家による防災キャラバンや防災担当による講座等を実施しています。(防災キャラバン：計10回(7～12月))

【防災キャラバン等の実施状況、参加者数】

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
団体数	6団体	8団体	10団体	8団体	18団体	4団体
実人数	268人	299人	369人	357人	1,304人	167人

【防災キャラバンのテーマ一覧(5年度)】(※は5年度から追加したテーマ)

テーマ	概要	4年度 実績
知的障害や自閉症のある人への支援※	災害時の知的障害や自閉症のある方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用法説明等	新規
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義	0回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	2回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	0回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	4回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	2回
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	2回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	1回



【4年度実施した防災キャラバンの様子(テーマ「防災食」)】

(6) 防災講演会の実施

区民の防災意識を醸成するため、大規模災害時の体験談や災害への備え等について、5年度は、「災害時の医療体制」をテーマに、港北区医師会から講師を招き、区民が広く参加することができる講演会を開催しました。(7月14日、参加者111人)

(7) まるごとまちごとハザードマップの設置（11月～3月）

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、区内の洪水浸水想定区域内に設置します。

5年度に設置する地域は、洪水浸水想定区域がある地区連合町内会のうち、地区内の家屋倒壊等氾濫想定区域や想定浸水深等の状況を考慮し城郷、新羽地区とします。

地区内の設置箇所は、地区定例会を通じて地域とも調整しながら決定します。



【4年度に設置した想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ（大倉山地区）】

(8) 外国語版防災マップの作成《新規》

日本語を母語としない外国籍の区民や区内在勤者、在学者が平時から防災意識を高め、災害への備えや適切な避難行動を取ることができるよう、外国語版の防災マップを作成しウェブサイト上に公開します。

(9) 防災マップ、各種ハザードマップ等の更新、増刷

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、防災マップ、各種ハザードマップ等を更新し、増刷します。

防災マップに3月に開業した相鉄・東急新横浜線や、震災時の緊急輸送路を追加するほか、給水設備等の状況について最新の情報に更新します。

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(5) 950千円、(4) 1,008千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等(2,922件)】(5年7月末)

・洪水浸水想定区域内災害時要援護者	2,604件
・家屋倒壊等氾濫想定区域となる 新羽町・北新横浜・小机町等の一部の住民	193件
・自治会町内会の会長（区内全域）	122件
・土砂災害警戒情報発表に伴う 即時避難指示対象の区域の住民	3件

3 避難所等の環境改善及び運営支援 【(5) 3,369千円、(4) 8,354千円】

(1) 横浜防災ライセンス資機材取扱講習会（リーダー講習会）の実施《新規》

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、総務局が行っているリーダー講習会を、区独自に地域防災拠点運営委員に対して実施します。（第1回：9月23日（土）駒林小、第2回：1月頃（会場調整中））

(2) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、運営委員会の要請等に対応し修繕・更新を行っています。

(3) アマチュア無線非常通信協力会が使用する無線機の更新

各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器について、継続して運用するため、新規格に対応した機器を4拠点分更新します。

(4) 指定緊急避難場所の機能強化に係る補助金の交付

風水害時の避難場所運営を強化するため、地域防災拠点のうち、台風などの風水害時に避難場所として開設する可能性がある17拠点の運営委員会を対象に、活動経費や資機材の購入費用として補助金を交付します。

(5) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

各地域防災拠点で実施される防災訓練の参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

4 区災害対策本部の効率的な設置運営 【(5) 5,115千円、(4) 5,500千円】

(1) I P無線機等を活用した円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、I P無線機等の各種通信機器を継続して運用しています。

I P無線機の特徴

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能



【I P無線機】

(2) 災害時における避難場所等運営

災害時に地区センター等を借り上げ、避難場所として開設した場合に施設使用料を負担します。



【避難場所開設時の様子】

左：日吉地区センター（4年9月） 右：高田東小学校（5年6月）

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施します。

【訓練】

- ・区職員向け動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（9月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員向け安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修
（4月13日、17日 転入責任職18人）
- ・地域防災拠点参与係長研修
（5月10日、12日 31人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修
（6月19日、21日、27日 39人）
- ・拠点動員者研修（11月）



【風水害時避難場所運営責任者研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品整備等

区本部の備蓄品整備や更新を行います。また、災害発生時の円滑な資機材の使用や備蓄品の搬出等のため、倉庫内や災害対策本部の資機材、備蓄品の配置等を見直します。

5 各種団体への補助 【(5) 170 千円、(4) 170 千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付します。

【総務局区配予算】

- ・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【(5) 3,480 千円、(4) 3,480 千円】

区内 29 か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1 拠点あたり 12 万円交付）

町の防災組織活動費補助金 【(5) 17,359 千円、(4) 18,407 千円】

区内 151 団体の町の防災組織へ補助（1 世帯あたり 160 円交付）

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (2) 災害時医療整備事業	629千円	16千円	2.5%
福祉保健課			

【事業の概要】

災害時医療の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議の開催や医療救護隊等の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成を進めます。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【(5) 220千円、(4) 20千円】

(1) 災害医療連絡会議 年3回（6月20日、10月31日、2月6日）

医師会、歯科医師会、薬剤師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行っています。



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知《拡充》

医療機関や医療救護隊が、限られた資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択や軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行っています。

具体的には、チラシ作成及び配布、広報よこはま区版やツイッターでの広報を行っています。（8月）

2 医療救護隊訓練の実施 【(5) 50千円、(4) 50千円】

- ・ 参集実地訓練（参集拠点2か所、医療調整班本部）（12月）
- ・ 医療機関報告書持込訓練（10月～11月）
- ・ のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月1～7日、1月）
- ・ 通信訓練 局⇄区：年6回、区⇄医療機関：年4回



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
参集実地訓練 (実人数)	64人	116人	中止	41人	70人	二
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	—	—	—	41診療所	二

3 医療救護隊用装備品の整備《拡充》 【(5) 316千円、(4) 164千円】

- ・医療救護隊参集拠点における定点診療に必要な装備品を整備します。
- ・医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備します。
- ・北部の医療救護隊参集拠点である日吉台中学校コミュニティスクールにおいて、医療資機材用の資材庫及び無線通信設備を整備します。

4 Yナースの登録促進と育成 【(5) 43千円、(4) 43千円】

- ・リーフレット等を活用した新規登録勧奨等 (6月)
- ・広報よこはま区版に募集記事掲載 (8月)
- ・参集実地訓練への参加 (12月)
- ・Yナース連絡会の初開催 (秋ごろ)
- ・各種研修 (県看護協会や医療局主催の研修会等) の参加勧奨 (10月、2月)

【Yナース登録人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
登録人数	52人	66人	56人	72人	64人	63人



【Yナース募集リーフレット】

1-(3) 快適な暮らしの衛生応援事業

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	500千円	168千円	33.6%
生活衛生課			

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、ホームページやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援します。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【(5) 310千円、(4) 365千円】

イラスト、動画、クイズ等を掲載したSNSを発信し、ホームページに誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進しています。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		30年	元年	2年	3年	4年	5年 (7月末)
食中毒	件数	7件	4件	3件	2件	2件	0件
	患者数	62人	48人	24人	7人	4人	0人
感染症※	件数	22件	26件	22件	35件	43件	24件
	患者数	181人	310人	41人	274人	202人	518人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【(5) 190千円、(4) 190千円】

衛生害虫やペットのマナーに関する相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進しています。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発を実施（4月15日、23日）
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発（5月～12月）

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
衛生害虫	567件	540件	405件	516件	469件	155件
ペット	175件	222件	199件	154件	126件	34件



【マナー・防災に関する啓発資料】



【ペットのマナー・防災対策教室】

1 安全に、安心して暮らせるまちづくり

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,340千円	3,343千円	62.6%
地域振興課			

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力した啓発活動を行います。特に、子どもと高齢者を中心にした事業を実施します。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業 【(5) 4,845千円、(4) 4,641千円】

- 区内の小学校新1年生にランドセルカバーを配付しました。(4月7日)
- 「はまっ子交通あんぜん教室」を区内小学校23校で実施しました。
低学年には歩行者教室、高学年には自転車教室を実施しました。
その他、DVDを作成(11月)、雨天等の室内開催にも対応します。《拡充》
- 交通安全ポスターコンクールの開催(8~9月募集)と表彰(12月)
各小学校児童からの応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。
- 区内スクールゾーン対策協議会への助成金を交付しました。
- スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱巻看板等を更新、設置します。



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示】



【スクールゾーン電柱巻】

2 交通安全運動事業 【(5) 133千円、(4) 166千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

交通安全各種団体と連携を図りながら、各種交通安全キャンペーンを実施し、自転車利用者のヘルメット着用や特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）の適正な交通ルール等の啓発も進めています。

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン（5月11日 新横浜 70名参加）
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン（7月12日 日吉駅 36名参加）
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン
- ・その他、自転車・二輪車に関するキャンペーンの実施等



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 「安全・安心のつどい」の開催

防犯活動功労者伝達式等と併せて、交通安全功労者表彰やポスターコンクール入賞者表彰、交通安全講話等を公会堂で実施します。(12月4日)

3 高齢者交通安全対策事業 【(5) 300千円、(4) 200千円】

(1) 高齢者交通安全教室の開催（ドライビングスクールでの体験型交通安全教室）

希望者に対し、高齢者交通安全教室を菊名ドライビングスクールと日吉自動車学校の2か所で実施します。(10月～11月開催予定)

- ・高齢ドライバーの運転実技講習
- ・サポートカー試乗による安全運転講習の実施

【参加者数の推移】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
延べ数	19人	37人	中止	中止	19人	—



【高齢者交通安全教室】

(2) シルバーウォークラリーの開催

警察署と連携し、道路の歩き方等の指導や目的地までのウォーキング及び身体機能テストを含む交通安全講話を実施します。(5月15日・9月27日)

5月は雨天のため新羽ケアプラザにて交通安全教室を実施しました。

【参加者数の推移】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実人数	54人	69人	中止	中止	23人	<u>14人</u>



【シルバーウォークラリー】

(3) 高齢者施設での交通安全教室の開催《拡充》

高齢者施設にて交通安全教室を開催し、免許返納の推進や交通安全の啓発活動を毎月1回行います。また、DVD等の教材を作成し、交通安全教室での放映や希望者への貸出しを行い高齢者の交通安全に対する意識を醸成します。

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【(5) 62千円、(4) 59千円】

子育て施設の安全対策として、新規に開園する保育所や幼稚園等の施設周辺に、施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しに対する注意を促す電柱巻看板を設置します。



【電柱巻看板】

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (5) 放置自転車対策事業	3,848千円	3,186千円	82.8%
地域振興課			

【事業の概要】

駅前において歩行者の安全を確保するため、自転車等の放置が著しい駅周辺へ自転車等放置防止監視員を配置します。

また、自転車等放置防止推進協議会のキャンペーン活動を支援し、自転車等の放置防止を促します。

【主な内容】

1 監視員事業 【(5) 3,318千円、(4) 3,728千円】

駐輪禁止区域内の自転車等の放置防止やマナーアップを図るため、自転車等の放置が著しい駅周辺へ自転車等放置防止監視員を配置しています。

【自転車等放置防止監視員配置人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (計画)
延べ 配置人数	3,840人	3,264人	2,836人	1,952人	1,752人	1,576人

【区内全駅の1日における放置台数(合計)】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
放置台数	444	422	365	214	330	-
駐輪場台数	19,619	19,896	19,981	20,039	19,461	-

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋

(11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数)

【道路局区配予算】

- ・自転車マナーアップ事業【(5) 6,604千円、(4) 7,338千円】
自転車放置防止監視員の配置(区づくり推進費と合算して執行)

2 地域活動事業 【(5) 530千円、(4) 558千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成(11協議会)するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じた協議会の活動を支援しています。(通年)

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各駅協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催します。

視覚的に駐輪禁止とわかるように、看板等を活用し、駐輪禁止区域内の自転車等の放置を防止しています。《拡充》



【放置自転車クリーンキャンペーン】

《参考》

【道路局が実施する撤去回数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
平日	281回	242回	320回	323回	282回	61回
休日	59回	57回	31回	56回	37回	8回

局事業

[道路局事業]

- ・ 放置防止等移動・保管・返還業務

来街者も多く放置自転車の多い駅は集中的な対策を維持する必要があるため、重点的に移動作業を実施します。

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	852千円	330千円	38.7%
地域振興課			

【事業の概要】

区民の防犯意識を醸成し、安心して暮らせるまちづくりのため、地域の要望に合わせた防犯関連物品等を提供し、区民が主体となって防犯活動を行うことができるように支援を行います。

あわせて、区内の犯罪発生情報を迅速に提供し、地域の防犯活動に役立てることに加え、特殊詐欺の口や対策の周知を積極的に行うことで地域の防犯力の向上と安全で安心なまちの実現を目指します。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信事業 【(5)132千円、(4)132千円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から情報提供があった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しています。特に、特殊詐欺については、前兆電話があったという情報を、メールで「特殊詐欺警報」として即時に配信しています。

【防犯情報メール登録者数】

年度	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度 (7月末)
延べ登録者数	8,750人	9,711人	10,622人	11,250人	11,569人	<u>11,639人</u>

2 防犯啓発活動事業 【(5)500千円、(4)300千円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付《拡充》

「のぼり旗」や「ベスト」など、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しています。また、新綱島駅、新横浜駅周辺における啓発活動にも活用しています。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、放送による防犯啓発を行っています。子どもの下校時間に合わせた見守りとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を放送で呼び掛けています。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

(3) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を開催しました。（6月16日）

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催【再掲】

交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施します。（12月4日）

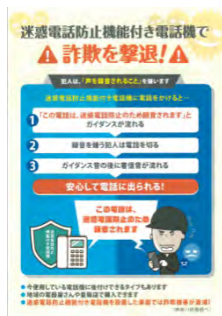
3 「子ども110番の家」ネットワーク会議

各小学校の「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」の役員会を開催しました。（6月30日）

各小学校のPTAの代表者を対象に「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」を開催します。（9月8日）

4 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【(5) 220千円、(4) 220千円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での電話機設置を促しています。また、警察や民間企業と連携し、巡回訪問時に啓発グッズを配布してもらうなど、特殊詐欺防止の啓発を実施しています。



【啓発チラシ】



【啓発グッズ①】



【啓発グッズ②】

【市民局区配予算】【(5) 90千円、(4) 90千円】

- ・地域防犯啓発事業

港北区内の小学校を通じて子ども110番の家に協力いただける家庭に配付する子ども110番の家プレートを作製します。

《参考》

【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	30年	元年	2年	3年	4年	5年 (1～6月)
犯罪発生件数	1,735件	1,453件	1,109件	1,215件	1,426件	940件
特殊詐欺	58件	74件	35件	58件	105件	60件
同被害額	2億4,800万円	1億8,400万円	5,500万円	1億4,345万円	1億8,532万円	約1億1,710万円

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (7) 地域における災害時 《新規》 要援護者支援推進事業	995千円	0千円	0%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

地域の自主防災組織と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と要援護者の防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意した要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを配付します。

また、長期停電時に要電源医療機器利用者（常時電源を要する医療機器を在宅で使用する方）の電源確保を区内の協力企業がサポートする共助の仕組みを構築します。

【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業 【(5) 645千円】

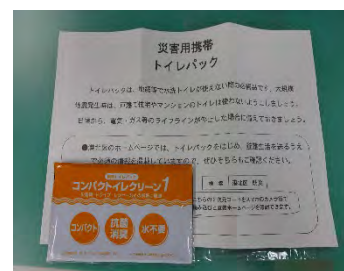
自治会町内会等の地域の自主防災組織と要援護者との平常時の関係構築及び要援護者の防災意識の醸成を推進するため、地域の方が要援護者宅に訪問する際に持参する防災物品等と防災情報等の啓発チラシを配付します。

配付数：6,000部

【健康福祉局区配予算】【(5) 2,024千円、(4) 2,024千円】

・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。



【備蓄物品と啓発チラシの例】

2 要電源医療機器利用者支援事業 【(5) 350千円】

区内の協力企業に災害用としてポータブルバッテリーを貸与し、長期停電時に協力企業による共助の取組として充電済みのバッテリーを要電源医療機器利用者に貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行います。

協定締結企業：10社

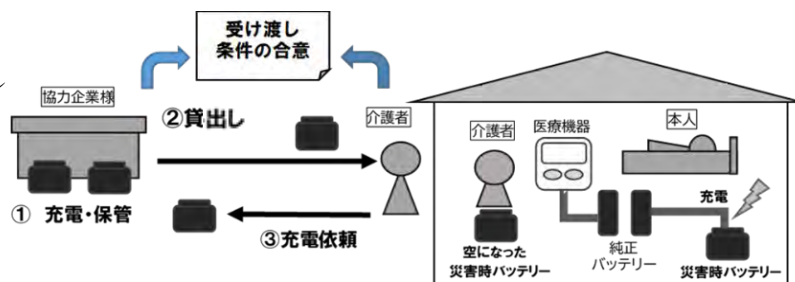
【取組のイメージ図】

協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使って

①平常時は充電・保管

②1日超の長期停電時に貸出し

③対象者のバッテリーの充電のサイクルを作ります。



《参考》

【港北区における要電源医療機器利用者の推定人数（※）】

- ・人工呼吸器利用者数 推定 50 人
- ・自動腹膜装置利用者数 推定 10 人



【貸出用ポータブルバッテリーの例】

※要電源医療機器利用者が、必ずしも障害者手帳等の行政サービスを利用しているわけではないため、区役所による対象者の把握は困難です。そのため、健康福祉局の要電源医療機器利用者登録制度を活用し、協力企業とのマッチングを行います。

《参考》

局事業

【健康福祉局事業】

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業
災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、市民税所得割額等に応じて蓄電池等の非常用電源装置の給付を行います。
- ・横浜市災害時要電源障害児者等登録制度
電源が必要な医療機器を在宅で使用される方のうち、災害時（発災前を含む）に支援が必要な方を把握することで、災害対策検討、広報、情報発信等、様々な施策に活用していくことを目的とした登録制度。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,439千円	298千円	20.7%
福祉保健課			

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「第4期港北区地域福祉保健計画（計画期間：3年度～7年度）」（以下「ひっとプラン港北」という。）の区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。5年度は、「ひっとプラン港北」の3年目となることから、進捗状況の中間振り返りを実施します。

【主な内容】

1 「ひっとプラン港北」に関する区民意識調査《新規》 【(5) 500千円】

- ・中間振り返りや地域課題への検討を目的としたアンケート調査（9月）
- ・調査結果の分析・まとめ（2月）

2 区計画推進・地区計画推進支援 【(5) 389千円、(4) 595千円】

(1) 区計画推進

- ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議（7月5日、2月）
- ・地域活動への参加を促す広報（6月～8月：リーフレット配布、動画広告）《新規》
第4期区計画の重点目標である「幅広い住民の地域活動への参加促進」に向け、特に30～40代の若い世代の参加のきっかけになるよう、新たな試みとして動画広告を配信しています。

(2) 地区計画推進支援

- ・地区計画サポートスタッフ（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ）による各地区の状況に応じた地区計画推進の支援を実施しています。（通年）

3 「ひっとプラン港北」周知・啓発 【(5) 550千円、(4) 650千円】

(1) 「ひっとプラン港北 地区計画ニュース」の発行（3月）



【地区計画ニュース表面（13地区作成）】



【地区計画ニュース裏面（共通）】

(2) 港北ほくほくフェスタ「区民フォーラム」の開催

「このまちが好き！～子どもからつながる、みんなのちょっとイイ関係～」をテーマに、子どもたちと地域をつなげる取組、子どもをきっかけに若い世代と地域がつながる取組事例を活動団体が発表し、人と人とのつながりづくりや未来を担う人材育成を推進します。（11月2日）

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行状況	7月末執行率
2-(2) 地域子育てサポート事業	9,041千円	6,192千円	68.5%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

妊婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が、孤立感を持つことなく安心して子どもを産み育てられるよう、地域の子育て支援施設の利用や仲間づくりの支援、児童虐待防止対策等に取り組むことで、妊娠期から切れ目のない支援を実施します。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業《拡充》 【(5) 700千円、(4) 600千円】

妊婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び仲間づくりの場の提供のため、親と子のつどいの広場（7か所、前年度比1か所増）で、マタニティプログラム*を実施しています。（各施設年4回以上 全28回以上）

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

【実施回数・延べ参加人数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施回数	59回	84回	81回	13回
延べ参加人数	88人	135人	139人	24人

局事業

[こども青少年局事業]

・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しています。

[こども青少年局区配予算]

・SNS等を活用したオンライン母子保健相談のモデル実施【(5) 6,100千円】

妊婦とそのパートナー及び0歳児を育てる保護者を対象に、スマートフォン等から相談フォームを活用して医師、助産師等に相談できるオンライン母子保健相談事業を実施しています。

2 土曜両親教室事業 【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくりのため、パートナーも参加しやすい平日夜と土曜日にオンライン両親教室を実施しています。(年24回)

【実施回数・参加人数】

年度	4年度	5年度 (7月末)
実施回数	24回	<u>8回</u>
延べ人数	384人	<u>99人</u>

[こども青少年局区配予算(局モデル事業)]

- ・土曜両親教室事業【(5)738千円、(4)783千円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、土曜日に、地域子育て支援点及び地域ケアプラザで、対面での両親教室を実施しています。(年36回)

[こども青少年局区配予算]

- ・両親教室【(5)324千円、(4)360千円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を開催しています。(3回連続講座×年12コース)

3 みんなの両親教室事業《新規》 【(5) 102千円】

これまでの両親教室の対象者(第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー)だけでなく、より多様な対象者に向けて、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施しています。

- ・これから父親になる方向け：年3回
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回

【開催日程・場所】

	開催日	場所
これから父親になる方向け	<u>6月17日</u>	どろっふ大倉山
	6月17日	どろっふサテライト
	9月16日	どろっふ大倉山
第2子以降	4月28日	どろっふサテライト
	7月21日	どろっふ大倉山
	9月15日	どろっふ大倉山
	11月24日	どろっふサテライト
	1月17日	どろっふ大倉山
	2月28日	どろっふサテライト

【実施回数・参加人数】

年度	5年度 (7月末時点)	
これから父親になる方向け	実施回数	<u>2回</u>
	延べ人数	<u>13人</u>
第2子以降	実施回数	<u>2回</u>
	延べ人数	<u>10人</u>

4 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【(5) 445千円、(4) 545千円】

産後6か月までの妊産婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりを目的に、港北区の妊娠期の取組が網羅されたリーフレットや親と子のつどいの広場の利用体験券を配布しています。

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度 (7月末)
配布枚数	4,747枚	1,389枚
利用延べ件数	159件	90件

【参考】

令和元年度から3年度は、つどいの広場でのプレゼント交換チケットを、区役所窓口で配布。

年度	元年度	2年度	3年度
チケット配布枚数	500枚	1,718枚	1,565枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個

局事業

【こども青少年局事業】

- ・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの不安定な時期を中心に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しています。(4年度妊娠届出数：3,355件)

5 地域育児教室（赤ちゃん会） 【(5) 1,795千円、(4) 1,785千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館や地域ケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しています。(全24会場 年240回)

箕輪地区の申込状況を鑑み、5年度から1会場増やして実施しています。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
開催回数	237回	211回	140回	226回	229回	96回
実人数	3,355人	2,788人	1,762人	2,209人	2,380人	1,143人
延べ人数	9,554人	7,732人	3,171人	5,579人	6,661人	2,451人

※令和2年7月から新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場ごとに定員の上限を設定

6 児童虐待防止対策事業《拡充》 【(5) 1,105千円、(4) 965千円】

- ・学齢期以降の子を持つ養育者を対象としたグループミーティング（月1回、5年度から実施）
- ・「子どものかかわり方」講座（対象：子育て世帯及び関係者、11月28日）
- ・区全体会（対象：港北区要保護児童対策地域協議会関係機関、7月4日）
- ・児童虐待防止啓発グッズの作製（11月）
- ・ふれあいまつりでの啓発ブース設置（11月25日）
- ・民生委員・児童委員協議会地区（全22地区）を12エリアに区分したエリア別連絡会
前年、前々年度未実施エリア等、4エリアで実施を調整中。（高田エリア他3エリア）
- ・病院、学校等の関係機関と機関別連絡会の開催
小中学校（6月26日）
基幹相談支援センター（9月）
横浜市総合リハビリテーションセンター（12月）
横浜労災病院（12月）

7 歯つらつ1歳歯みがき教室 【(5) 517千円、(4) 517千円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や、歯みがきの実習を実施しています。

- （全48回：歯みがきをこれから開始する方向け、24回
歯みがきをすでに開始している方向け、24回）

【歯みがき教室参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実人数	916人	778人	143人	365人	397人	<u>160人</u>

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局区配予算]

- ・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を実施しています。（年24回）

8 母乳育児相談 【(5) 219千円、(4) 219千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しています。(年24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実人数	190人	116人	102人	80人	100人	<u>33人</u>

局事業

【こども青少年局事業】

- 横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしています。

利用料：1回につき9,000円（自己負担4,000円）

対象：生後4か月未満の子どもを持つ母親

利用回数：3回まで（1回につき60～90分程度）

【母子ケア事業利用者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (6月末)
港北区	88人 (174回)	141人 (207回)	215人 (600回)	250人 (475回)	250人 (477回)	<u>59人</u> <u>(106回)</u>
横浜市	663人 (1,295回)	843人 (1,592回)	391人 (3,856回)	1,272人 (2,408回)	1,098人 (2,090回)	<u>238人</u> <u>(386回)</u>

9 「窓口対応満足度」向上事業 【(5) 2,738千円、(4) 3,616千円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口案内員を配置しています。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置しています。

【窓口案内員配置日数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
案内員配置日数	164日	169日	142日	157日	167日	<u>65日</u>

10 「保育所等による子育て支援」事業 【(5) 420千円、(4) 420千円】

(1) にこにこ広場

子育て家庭への支援を目的に、親子と一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施します。

【令和5年度実施日程】

- ・日吉本町地域ケアプラザ 7月4日
- ・宮前公会堂 11月1日
- ・港北保育園 園庭と支援棟 11月7日
- ・樽町地域ケアプラザ 11月29日
- ・菊名コミュニティハウス 1月23日

【にこにこ広場参加者数】※1

年度	30年度	元年度	2年度※2	3年度※3	4年度	5年度 (7月末)
実人数	1,512人	1,680人	中止	259人	321人	<u>89人</u>

※1 令和4年度までは「わくわく子育て広場」として実施

※2 2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

※3 3年度、4年度は新型コロナウイルスの影響で、地域別に縮小開催

(2) ベビーステーション

乳幼児を子育て中の保護者に対し、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を実施しています。

より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーを作製し、協力施設に掲出を依頼し、取組を周知しています。

【ベビーステーション協力施設数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
協力施設数	89施設	92施設	94施設	94施設	95施設	<u>95施設</u>

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(3) 保育所支援・情報提供事業	1,885千円	652千円	34.6%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育士の確保や保育の質の向上につながる取組を実施します。また、保育所情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信します。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【(5) 500千円、(4) 550千円】

保育士の採用や定着に苦慮している保育所等に対して区独自で専門のコンサルタント派遣等を行い、保育所等の保育士確保を支援します。

- ・対象：港北区内民間保育施設

局事業

[こども青少年局事業]

- ・保育士確保コンサルタント派遣事業

市内の保育所等を対象に、保育や経営等の専門的な知識を有するコンサルタントを派遣し、保育士の採用や人材の定着、施設の運営等について支援を行います。

2 民間園向け研修事業 【(5) 150千円、(4) 250千円】

区内保育施設を対象とした施設長会の開催に合わせて、外部講師による「保育の質の確保」を目的とした研修を実施しています。

6月21日(水)に1回目として、「コーチング研修 基本スキル《傾聴》《承認》」を実施し、77園が参加しました。2回目は9月15日、3回目は2月27日に実施予定です。

3 保育所等情報提供事業 【(5) 1,235千円、(4) 910千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについて分かりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内等を作成します。

- ・配布予定場所：区役所、行政サービスコーナー、港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」、区内認可保育所等
- ・発行予定部数：10,000部

2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	798千円	230千円	28.8%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化と質の向上を図るために、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブに従事する職員に対して研修を実施し、職員の能力向上に繋がります。また日頃顔を合わせる機会の少ない各クラブ職員が集う場を提供し、職員間のグループワーク等を通じてクラブ間の連携強化を促進します。

さらに、クラブを利用する児童やその保護者が利用したいクラブをより適切に選択できるように、クラブ情報の周知を図ります。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【(5) 273千円、(4) 250千円】

研修テーマ	内容	参加人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	30人	6月9日
表現活動 (作品づくり)	身近なもので作る工作・絵描き等を通じた表現活動の指導ポイント	19人	7月7日
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	定員 各35人	9月 10月
保護者対応	保護者とのコミュニケーションの取り方 事例検討		10月
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方		11月
事故・怪我予防 応急処置	事故の特徴、事故防止ポイント及び手当の仕方 AEDの使い方		1月

研修対象：放課後キッズクラブ26か所、放課後児童クラブ32か所



【研修の様子（左：防災、右：表現活動）】

2 クラブ情報提供事業《新規》 【(5) 525千円】

クラブを利用する児童やその保護者のクラブ選定時の負担を軽減するため、クラブの写真や、特色等の情報を集約した一覧データを作成し、区ウェブサイトに掲載します（9月下旬）。

就学時健診の際に、一覧を掲載したページにアクセスできるQRコード等を掲載したチラシを配布することで、一覧データの活用を促進します（11月）。

- ・対象経費：掲載用一覧データ及びチラシデザイン、チラシ印刷及び配送
- ・配布数：チラシ5,000枚
- ・配布対象：保護者3,600人、保育所150園

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(5) 離乳食教室	1,526千円	1,140千円	74.7%
福祉保健課			

【事業の概要】

子どものより良い成長のため、離乳開始時期から離乳完了までの各時期に必要な情報を保護者に伝え、一人ひとりの状況に応じた支援により安心して離乳を進めていくため、離乳食教室及び個別栄養相談を実施します。

【主な内容】

1 離乳食教室《拡充》 【(5) 1,190千円、(4) 844千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施しています。よりきめ細かく支援ができるよう、1回当たりの参加者数を減らし、実施回数を月3回から月4回に拡充し、実施しています。

また、コロナ禍で試食ができず講話のみになっていたため、試食を一口量や固さ体験に変更して実施しています。

- ・回数：月4回、年間48回
 - ・会場：区役所
 - ・内容：講話、一口量体験、個別相談
- ※予約制に変更

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度 ^{※1}	2年度 ^{※2}	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施回数	36回	33回	18回	36回	36回	<u>15回</u>
参加者数 (実人数)	863人	712人	119人	379人	394人	<u>170人</u>

※1 新型コロナウイルスの影響で2月の参加者数減、3月(3回)は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響で実施回数減(18回)及び参加者数減

2 子どもの個別栄養相談 【(5) 72千円、(4) 72千円】

生後5か月以降の子どもとその養育者を対象に、個々の離乳食の不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しています。

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局区配と合算)

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実人数	73人	93人	101人	103人	108人	<u>44人</u>

※子どもの個別栄養相談は、区配予算と合算して月3回の定例日を設定した上で、別日も必要に応じて対応

[健康福祉局区配予算]

- ・乳幼児食生活健康相談 【(5) 168 千円、(4) 161 千円】
0～18 歳の子どものその保護者に対して食生活健康相談を実施

3 港北区離乳食手帳等の配布 【(5) 264千円、(4) 242千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学べるよう、離乳食手帳を作成し、4 か月児健診の際に配付しています。また、離乳食教室の案内ちらしを作成し、配付しています。

- ・作成部数：離乳食手帳 3,500部、離乳食教室案内ちらし 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内ちらし】



事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,778千円	1,904千円	50.4%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行います。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施します。

【主な内容】

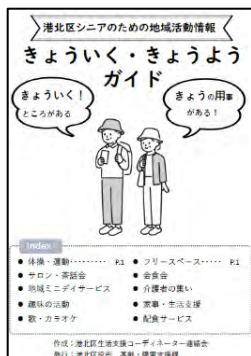
1 地域包括ケアシステム推進事業 【(5) 1,165千円、(4) 870千円】

(1) 人材育成とネットワークの構築《拡充》

- ・認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）の情報共有等のために、つどいの場を開催します。（9月21日）
- ・地域包括ケアシステム構築に有効なツールである地域ケア会議※を効果的に開催できるよう、地域包括支援センター職員・区職員を対象に地域ケア会議基礎研修を実施しました（6月29日）また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議を開催します。（1月）
- ※ 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を図る会議
- ・地域に住む人・働く人など多様な主体で高齢者を支える体制づくりのため、港北区商店街連合会加入商店に対して、VR（仮想現実）機器による認知症当事者体験会を開催します。（定員計60名）（9月15日、28日）

(2) リーフレット等を用いた普及啓発

- ・住民主体の地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）情報をまとめたリーフレットを配布し、高齢者が身近な場所でやりがいや生きがいを感じながら地域活動ができるよう普及啓発を進めています。
- ・認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用します。また、パンフレットを配布し、普及啓発を進めています。
- ・高齢者虐待防止ハンドブックを配布し、普及啓発を進めています。



【きょういく・きょうようガイド（地域活動情報リーフレット）】

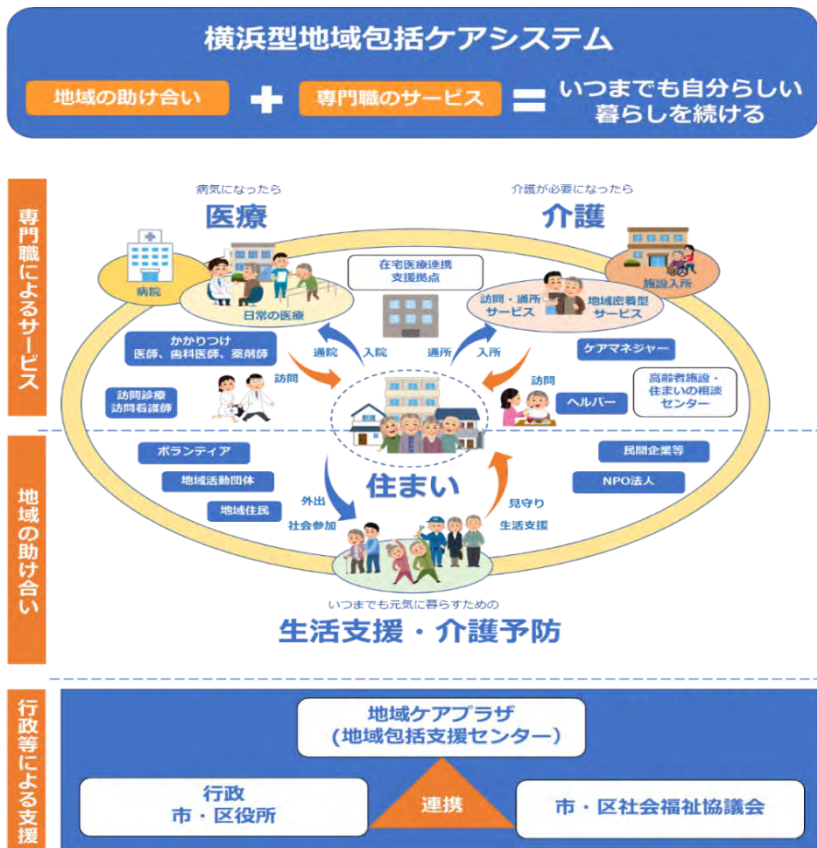


【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止ハンドブック】

＜地域包括ケアシステムイメージ図＞



《参考》

【港北区における高齢者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
65歳以上人口	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人	70,730人 (市内3位)	—
高齢化率	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%	19.9%	—
認知症高齢者数*	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人	6,696人	—
要介護認定者数(1号)	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人	13,297人	—

*要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。
2年度～4年度半ばまで新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外されている。実質的には2年度以降も増加傾向。

[健康福祉局区配予算]

- ・介護予防関連事業 【(5) 1,194千円、(4) 1,036千円】
フレイル予防講演会(5年ぶりに公会堂講堂で実施)、公募型自主活動グループ交流会、地域診断研修(地域ケアプラザ職員等向けの地域データ分析研修)の実施。地域の活動への専門職の派遣や、元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援。
- ・認知症関連事業 【(5) 280千円、(4) 277千円】
認知症家族のための介護者セミナーや、区民向けの認知症講演会などを実施
- ・虐待予防関連事業 【(5) 49千円、(4) 56千円】
介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会や、虐待防止のためのネットワークミーティングの開催などを実施

[医療局区配予算]

- ・医療介護関連事業 【(5) 323千円、(4) 245千円】
ACP(アドバンス・ケア・プランニング:略称 人生会議)の人材育成研修・普及啓発

2 障害者支援事業 【(5) 896千円、(4) 720千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※人材育成部会において、支援機関の連携強化や支援技術向上のための研修会を企画・開催します。(2月)

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います。

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 精神保健に関する講演会

メンタルヘルスの向上や精神障害の理解啓発を目的として、区民向けに講演会を実施します。(12月)

【過去の講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	(新型コロナウイルスの影響により中止)	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人

イ 啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを実施します。(3月)

【過去の実施内容】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人

※4年度から実施

(3) 健康講座等の開催

自身の健康について理解を促進するため、作業所の利用者向けに健康講座等を開催します。

- ・希望のあった作業所に対し出張健康講座を開催しました。(4月12日、24日)
- ・感染症対策研修を開催します。(11月)

【健康講座実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施回数	5回	4回	1回	1回	1回	<u>2回</u>
参加者数	58人	54人	13人	11人	14人	<u>25人</u>

(4) 生活体験事業の実施《新規》

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境で生活を体験できるよう、マンションの借り上げ等を行い、地域での生活の具体的なイメージを持つための支援を行います。(2月)

【事業実施内容】

内 容：物件を1か月借り上げ、見学や最大2泊の宿泊体験等を実施する。あわせて、本人の状況により、ヘルパーの利用体験も行う。

対象者：港北区在住の概ね18歳以上で、精神障害者保健福祉手帳を所持している方等

〔健康福祉局区配予算〕

- ・精神障害者の生活教室事業 【(5) 128千円、(4) 128千円】

精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施

- ・難病相談事業 【(5) 219千円、(4) 224千円】

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施

《参考》

【港北区における障害者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
身体障害者 手帳所持者数	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人	7,294人	—
精神保健福祉 手帳所持者数	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人	3,413人	—
「愛の手帳」 所持者数	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人	2,603人	—
合計(延べ数)	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人	13,310人	—

3 来庁者窓口サポート事業 【(5) 1,717千円、(4) 1,850千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行っています。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	30年度	元年度*	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
件数	3,669件	2,873件	1,621件	1,413件	1,738件	2,037件

※元年度から指定難病の集中受付日を廃止したため件数が減少

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

年度	30年度	元年度	2年度*	3年度	4年度	5年度 (7月末)
件数	18,584件	19,697件	14,925件	16,897件	17,717件	5,816件

※新型コロナウイルス感染症対策による各種手続簡略化等により減少

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行状況	7月末執行率
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800千円	1,799千円	99.9%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

学齢期の児童が、そのらしさを発揮しながら健やかに生活ができるよう、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施します。

【主な内容】

1 港北区寄り添い型生活支援専門員の派遣事業 【(5) 1,800千円、(4) 1,800千円】

不登校児や養育支援を要する学齢児を対象に、登校や生活能力の獲得を目的に、個別訪問による登校支援及び生活習慣の実践的な支援を実施しています。

対象児童の個別目標を設定し、到達について確認しています。

(1) 登校支援

不登校となっている児童に対し、個別に自宅に訪問し、登校支援を行っています。

(2) 生活支援

自宅での生活能力の獲得に向けて、自宅を訪問し児童と一緒に自宅での生活能力の獲得のための実践的な生活支援を行っています。

(3) 児童が安心して過ごせる居場所利用に繋げる支援

当事業を利用する児童が、寄り添い型生活支援事業やハートフルスペース等安心して過ごせる居場所を利用できるよう支援を行っています。

【港北区寄り添い型生活支援専門員事業利用者数】

年度	4年度	5年度 (7月末)
人数	3人	3人
回数	29回	15回

【こども青少年局区配予算】

・寄り添い型生活支援事業 【(5) 15,911千円、(4) 16,142千円】

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しています。

局事業

【教育委員会事務局事業】

・ハートフルスペース（市内4か所：鶴見区・港南区・保土ヶ谷区・都筑区）

不登校状態にある児童生徒に対して、自己肯定感と相互の信頼関係を育み、社会的自立に向けた相談・支援を行っています。また、児童生徒の保護者同士の情報交換会を行っています。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,045千円	482千円	23.6%
地域振興課			

【事業の概要】

区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することで、地域スポーツの活性化を図ります。

また、国際スポーツ大会のレガシーを生かす取組を区内大学と連携して実施することで、区内におけるスポーツ活動の推進を図ります。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(5) 495千円、(4) 495千円】

<港北区スポーツ振興事業補助金の概要>

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
申請団体 (7月末)	6団体

2 港北駅伝大会 【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会の開催を支援します。



【駅伝大会の様子】

【参加チーム数】

年度	30年度	元年度	2年度※	3年度※	4年度	5年度 (7月末)
チーム数 (参加者数)	232 (1,395人)	235 (1,380人)	中止	中止	154 (913人)	—

※2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

3 大学とのスポーツ連携事業 【(5) 550千円、(4) 780千円】

慶應義塾大学等と連携し、ラグビーワールドカップ2019™(日本大会)で築いたレガシーをラグビーワールドカップ2023™(フランス大会)の機運醸成へ繋げるとともに、区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾体育會蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、タグラグビー授業を実施しています。(5月~12月)

【実施実績】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施校数	9校	10校	中止	7校	7校	4校

※2年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※5年度の申込数は12校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(7月1日)

【実施実績】

年度	30年度※1	元年度※2	2年度※3	3年度※3	4年度	5年度※4 (7月末)
参加人数	30人	130人	中止	中止	52人	20人

※1 30年度の対象は親子参加15組

※2 元年度は2回開催の延べ人数

※3 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※4 5年度は開始時間前までの降雨により参加者減



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【(5) 2,760千円、(4) 2,356千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・小学生スポーツフェスティバル運営費

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(2) 港北区商店街活性化事業	1,600千円	1,000千円	62.5%
地域振興課			

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベントの開催等を通して、消費者の関心・認知度の向上を図ることで、商店街の活性化を支援します。

【主な内容】

1 商店街活性化・魅力発信事業 【(5) 1,600千円、(4) 1,000千円】

(1) こうほくの商店街 ちょいより散歩

2年度、3年度は、システムを活用したデジタルスタンプラリーイベント、4年度は紙でのスタンプラリーイベントとして、「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を実施しました。

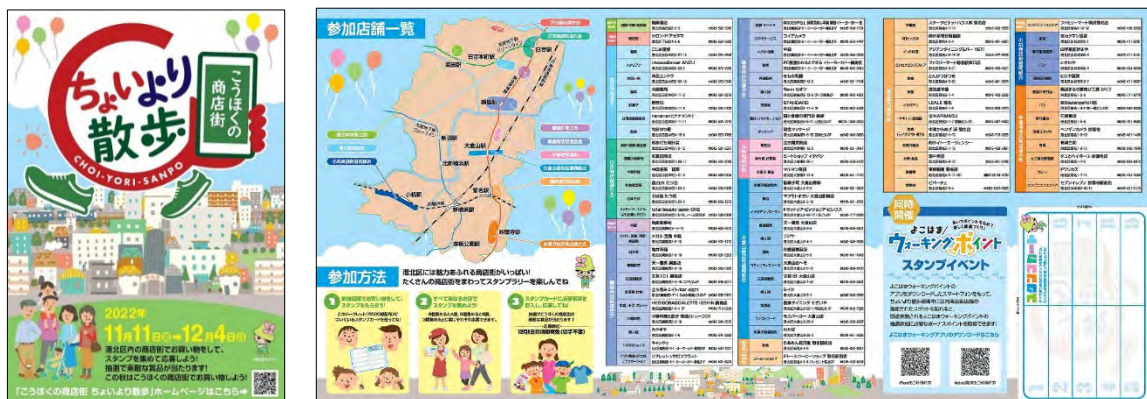
5年度は、引き続き商店街を利用するきっかけに繋がるようスタンプラリーイベントを、港北区商店街連合会が行うプレミアム付商品券事業と同時期に開催することで、商店街の更なる魅力発信に努めます。(10月～12月)

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」への参加人数】

年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日～12月6日	13	1,000 ※1	559人	無料
3	12月1日～12月26日	13	92 ※2	552人	無料
4	11月11日～12月4日	13	82	スタンプ台紙5,500部配布 (抽選応募者179人)	無料

※1 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗募集は行っていません。

※2 3年度については、参加店舗募集を実施しました。



【4年度 「こうほくの商店街 ちょいより散歩」リーフレット】

(2) 新綱島駅（東急新横浜線）開業にあわせた商店街魅力発信イベント《新規》

新綱島駅（東急新横浜線）周辺の商業施設等の開業にあわせ、港北区商店街連合会と連携し、新たな商店街利用者獲得のため区内商店街の魅力を発信する集客イベントを実施します。

【経済局区配予算】【(5) 未確定、(4) 2,000千円】

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金
商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助
 (5年度申請団体)
 - ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
 - ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
 - ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
 - ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマスイベント」
 - ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
 - ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	726千円	0千円	0%
福祉保健課			

【事業の概要】

ウォーキングをきっかけとした健康づくりを推進するため、区民にウォーキングの楽しさや魅力をPRするとともに継続できるよう支援します。

【主な内容】

1 ウォーキング普及啓発事業 【(5) 726千円、(4) 832千円】

(1) 健康づくりのムーブメントの醸成

- ・トレッサ横浜と連携した「雨の日でも楽しめるウォーキングマップ」イベントを実施します。
(10月)
- ・よこはまウォーキングポイント (YWP) とコラボしたイベントを実施します。(12月～3月)
- ・ウォーキングサポーター (保健活動推進員) 企画の健康ウォーキングイベントを実施します。
(12月)
- ・「港北区ウォーキング手帳」やPR動画を活用した手軽な運動の普及啓発をします。



【雨の日でも歩こう港北！【歩数計アプリを利用したイベントのチラシ】 【歩こう港北！健康ウォーキング】ショッピングモールで健康ウォーキング！】

【健康づくりのムーブメントの醸成に係る実績 (4年度)】

イベント名	開催時期	参加者数等
雨にもマケズ夏にもマケズ 港北ウォーキング2022 (YWP コラボ)	7月	2,358名 (達成者2,015名)
ウォーキングを始めよう！ 港北区スポット巡り (YWP コラボ)	11月	361名 (達成者268名)
歩こう港北！健康ウォーキング	12月	52名
トレッサ健康ウォーキング (トレッサ横浜連携・YWP コラボ)	3月	359名 (達成者322名)

(2) ウォーキングの習慣化

歩く楽しさや魅力を継続して感じてもらうため、ウォーキングコース等を紹介する手帳を配布するとともに、ウォーキング継続の意識を高めてもらうため、健康測定会を実施します。

- ・「港北区ウォーキング手帳」を改訂します。(3,000部、3月発行)
- ・ウォーキングミニ講座付き健康測定会を実施します。(1～2月)



【健康測定会】

【港北区ウォーキング手帳】

【健康測定会の実績】

	30年度	元年度	2年度*	3年度*	4年度*	5年度 (7月末)
参加者数	1,644人	1,353人	0人	195人	795人	二
実施回数	25回	24回	0回	11回	15回	二
実施内容	区民まつり、地区センターや地域ケアプラザまつり等で、 体組成、血圧、足指力、立ち上がりテスト等を実施					

※2年度は29回の測定会を予定、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせ

※3年度は19回の測定会を予定、新型コロナウイルスの影響により8回の実施を見合わせ

※4年度は15回の測定会を予定、全て実施

【健康福祉局区配予算】

健康づくりウォーキング事業（集団健康教育事業） 【(5) 82千円、(4) 34千円】

- ・健康測定会の実施（年間20回程度）
- ・健康測定従事者研修会（13地区） など

《参考》局事業

[健康福祉局事業]

- ・よこはまウォーキングポイント事業 【(5) 357千円、(4) 363千円】
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始
従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

《参考》

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】（5年6月末時点）

横浜市	港北区	
98,639人	9,350人	市の10.55% 区別順位1位

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(4) 育もう「ふるさと港北」事業	10,030千円	7,331千円	73.1%
地域振興課			

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

また、地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり《拡充》 【(5) 5,060千円、(4) 4,560千円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」の開催を支援します。(11月)

「東急新横浜線開業記念事業」に合わせたイベントブースを会場内に設置することで、相乗効果を創出します。

日時：令和5年11月25日(土) 10時～15時

場所：横浜アリーナ

実施内容：ステージイベント、各種ブース出店、抽選会

(分会場行事)

地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等(7月～)

【4年度実績】

・「2022ふるさと港北ふれあいまつり」来場者数

延べ約20,000人(「秋のヨコアリくんまつり」と合わせた延べ数)



【2022ふるさと港北ふれあいまつり】

【都市整備局区配】 【(5) 200千円】

・ 国際園芸博覧会推進事業費

ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会への補助金

国際園芸博覧会広報推進費として活用します。

2 大倉山観梅会事業 【(5) 1,150千円、(4) 1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、「大倉山観梅会」の開催を支援します。

- ・実施時期 6年2月23日・24日
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元の園児・団体のステージ・野点・梅酒の販売



【4年度 第35回観梅会】

[環境創造局区配] 【(5) 500千円、(4) 500千円】

- ・市民や企業と連携した緑のまちづくり事業
観梅会実行委員会への補助金

[都市整備局区配] 【(5) 800千円】

- ・国際園芸博覧会推進事業費
観梅会実行委員会への補助金
国際園芸博覧会広報推進費として活用します。

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(5) 1,450千円、(4) 1,450千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るため、小机城址まつり実行委員会に対し、補助金を交付し、開催を支援しました。(4月23日)。

〈小机城址まつり概要〉

武者行列、小机城址太鼓、岸根囃子、城郷中学校吹奏楽部演奏、各自治会町内会模擬店



【5年度 第28回小机城址まつり】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

3年度、4年度に実施された発掘調査を踏まえ、小机城址を紹介する案内冊子を配布するとともに、時間や場所を問わず啓発が行えるよう動画を作成し、港北区の魅力を発信します。また、これを活用し、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めます。さらに、12月にパシフィコ横浜ノースで開催予定のお城EXPOに出展し、小机城址の魅力を発信します。



【城郷小学校3年生 授業の様子】

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北条氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」や「小田原北条五代まつり」、「デジタルスタンプラリー」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRします。



【小田原北条五代まつり】

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(5) 550千円、(4) 550千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

- ・新規映像や既存映像を活用した配信用映像作品の制作（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(5) 270千円、(4) 505千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みます。

- ・港北区との連携ロゴを活用した、タイアップ物品の作製・配布
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催



6 青少年活動支援事業《拡充》 【(5) 550千円、(4) 500千円】

区民の親睦や連帯意識の高揚、家族のふれあいを深めるため、ペットボトルロケット大会の開催を支援します(11月3日 鶴見川樽町公園)。また、新綱島駅(東急新横浜線)開業に併せた「つなしま賞」の設置等により、会場周辺地域との連携を図ります。

- ・ペットボトルロケットの飛距離を競う飛距離部門。
- ・ペットボトルロケットのデザインを競うデザイン部門。



【過去大会の様子】(左：飛距離部門、右：デザイン部門)

【ペットボトルロケット大会参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
延べ人数	雨天中止	600人	中止	52人*	500人	—

※3年度はデザイン部門のみ開催

7 東急新横浜線開業記念事業《新規》 【(5) 1,000千円】

新綱島駅、新横浜駅(東急新横浜線)の開業を契機として、区を盛り上げる事業を実施することで、港北区の魅力を発信します。(8月~10月)

- ・「鉄道とともにあるまち港北」写真コンテストの募集開始(8月)
- ・11月開催の「ふるさと港北ふれあいまつり」の会場で投票を実施し、入賞作品を決定
- ・入賞作品をパンフレットやウェブサイトなど「港北区の魅力発信」に活用

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3 - (5) 地域のチカラ応援事業	2,790千円	2,746千円	98.4%
地域振興課			

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者から活動に対する助言を行います。
また、交流の場の提供など団体間の連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【(5) 2,496千円、(4) 2,738千円】

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付しました。

5年度は、これまでの団体の他、レモンを育てる過程で、新旧住民同士をつなぐコミュニティづくりを行う団体や、街の緑化を通じコミュニティを創出する団体等に対し新規で補助金を交付しました。(5月)

【交付団体数・交付金額】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
団体数	19団体	18団体	6団体	7団体	15団体	17団体
金額	2,465千円	2,768千円	1,095千円	1,517千円	2,472千円	2,489千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行っています。

【承諾団体数】 (予算取りなし、申請ベースで実施)

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
団体数	8団体	7団体	3団体	8団体	4団体	5団体

【市民局区配予算】 【(5) 500千円、(4) 750千円】

- ・地域の担い手応援事業 (新規申請募集停止)
- 地域元気づくりコース：継続2事業
- 自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業
- 1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

地域元気 づくり コース	年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	団体数	6団体	4団体	5団体	3団体	2団体	1団体
	金額	1,237千円	624千円	854千円	643千円	430千円	250千円

2 団体間の連携促進の取組 【(5) 294千円、(4) 362千円】

地域のチカラ応援事業補助金申請団体による公開提案会、報告会・市民活動交流会を開催します。有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会*委員）からの助言や団体同士の交流会による団体間の連携を促進しています。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図ります。

- ・公開提案会（4月、提案発表：6団体、参加者：22人/11団体）
- ・報告会・市民活動交流会（3月）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）
補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【公開提案会（5年度）】

[市民局区配予算] 【(5) 413千円、(4) 458千円】

- ・地域の担い手応援事業

港北つなぎ塾（地域づくり大学校）

補助金の交付や後援を受けることになった団体、まちの先生、区民活動支援センターの登録団体が中間支援組織や自治会・町内会等の地縁組織とつながり、地域のニーズに寄り添いながら進めていくことで、持続可能な活動につながることを学びます。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(6) 港北魅力発見事業	3,235千円	2,050千円	63.4%
区政推進課			

【事業の概要】

区民の地域への愛着を深めることを目的に、地域の特性や資源を活かしてその魅力を伝える取組を実施します。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン 【(5) 2,400千円、(4) 2,400千円】

第11回港北オープンガーデン(4月・5月実施済 計6日間)及び第12回イベントに向けた企画
 ※第11回イベントでは、地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」を、これまで実施してきた日吉エリア、綱島エリアに加え、新たに菊名エリアで企画しました。
 (雨天のため菊名エリアのツアーはすべての回を中止しました。)

※2027年国際園芸博覧会に向けた機運醸成の一環として、イベントパンフレット内で各区のオープンガーデンの取組を紹介しました。

【オープンガーデンの開催状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所数	延べ来場者数
30年度(第6回)	6日	87	約8,300人
元年度(第7回)	4日	100	約8,400人
2年度(第8回)※1	中止	107※2	—
3年度(第9回)	42日	114※3	※4
4年度(第10回)	6日	122	約9,000人
5年度(第11回)	6日	126	約10,500人

※1 新型コロナウイルスの影響で中止

※2 参加予定数

※3 現地公開(動画配信あり)91、現地公開(動画配信なし)20、動画配信のみ3

※4 参考数値：延べ約900人(25か所でカウント・2日間)
 動画再生回数：43,834回(3年6月21日時点・全94動画合計)



【第11回パンフレット】



【日吉のルート案内ツアー
(参考：第11回)】

【環境創造局区配予算】

- ・市民や企業と連携した緑のまちづくり事業 【(5) 1,700千円、(4) 1,500千円】
 第12回オープンガーデンのパンフレット作製及び参加会場交流会の実施

【都市整備局区配予算】

- ・国際園芸博覧会推進事業 【(5) 500千円、(4) 240千円】
 2027年国際園芸博覧会に向けたイベント認知度の向上及び機運醸成

2 港北オープンファクトリー 【(5) 835千円、(4) 985千円】

港北区には市内18区で最多の1,100か所以上の工場があります。

ものづくりの現場が生活の身近なところにあるという区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるために、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催します。

今年度は、本事業の実施体制を協力企業との連携によるものへ移行していくための第一歩として、関係者が共感できる共通目的の整理や区役所と一緒に企画や運営を担ってくれる中核的存在となる企業の開拓及び連携等を図っています。



【第11回 リーフレット】

《参考》

【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	参加企業数	延べ参加者数	備考
元年度(第8回)	中止	13	—	・新型コロナウイルスの影響で中止
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	・ウェブサイト上で動画公開 (「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度(第10回)	—	8	468人	・区内の小学校の児童を対象に オンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	・4年ぶりにリアル開催
5年度(第12回) (7月末)	—	—	—	—

【第11回 港北オープンファクトリーの協力企業】

(株)オースズ、(株)キョウワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、(株)バネックス、(株)東京ダイス、(株)ヒートエナジーテック、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、横浜高周波工業(株) 計12社



【第11回の開催の様子】

【経済局区配予算】

・ものづくり経営基盤強化事業 【(5) 400千円、(4) 400千円】

港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費として活用します。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(7) 芸術文化振興事業	2,500千円	1,750千円	70.0%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会が主催する質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等を行う港北芸術祭の開催を支援します。

また、新たな文化活動拠点となる「港北区民文化センター」の開館をPRすることを目的として、開館に合わせた賑わいづくりイベントを行い、区をあげて文化芸術活動を推進します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【(5) 2,000千円、(4) 2,000千円】

(1) 鑑賞型事業

- 朗読劇「真昼の夕焼け」 (9月9日 港北公会堂)
戦時下の横浜を描いた朗読劇
- 音楽コンサート「J・S・バッハの世界」 (11月19日 港北公会堂)
一なかなか聴くことのできない本格派 総勢19名によるバロックオーケストラ
古楽の専門奏者により結成された合奏団による作曲家J・S・バッハの音楽コンサート

《参考》

【4年度実施事業】

- Gentle Forest Jazz Band (10月15日 港北公会堂) 来場者数：554人
- 港北寄席 (12月10日 港北公会堂) 来場者数：372人



【Gentle Forest Jazz Band】



【港北寄席】

(2) 参加型事業

- さわってみよう！箏・尺八 (7月29日、8月26日 港北公会堂)
- 夏休み親子コンサート (8月27日 港北公会堂)
- 港北区中学校生徒音楽会 (10月22日 港北公会堂)
- 港北芸能大会 (11月3日 港北公会堂)
- 港北区小学校児童音楽会 (11月8～10日 港北公会堂)
- 港北三曲会演奏会 (11月11日 港北公会堂)
- 筆文字で遊ぼう (書道体験教室) (12月2日 港北区役所)
- 港北美術展 (2月28～3月3日 大倉山記念館)
- オーケストラ体験教室 (3月9日 港北公会堂)

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
来場者数 ※閲覧者数含む (延べ人数)	9,168人	5,553人	2,741人	1,794人	6,232人	<u>25人</u>
実施事業数	10事業	9事業	4事業	4事業	9事業	<u>1事業</u>

※元年度（1月以降）、2年度、3年度、4年度は、新型コロナウイルスの影響による減
 ※2年度、3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ウェブサイト上で
 オンライン開催。

第16回港北美術展（2年度）（9月30日～12月31日 閲覧者数：891人）

（3月15日～28日 閲覧者数：1,546人）

第17回港北美術展（3年度）（3月14日～27日 閲覧者数：1,486人）

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順）】

朝岡 聡	フリーアナウンサー
漆原 順一	港北区長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	女優
関 治美	港北区連合町内会長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》

各種団体主催事業（港北芸術祭参加事業）

港北芸術祭に参加を希望する事業で、広く区民の参加が認められ、文化振興への貢献が期待できるものを、広報よこはま港北区版や文化情報ウェブサイト等で広報します。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月11日 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（11月1日～5日 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（11月12日 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月3日 港北公会堂）
- ・こうほく第九演奏会（12月10日 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（日程調整中 港北公会堂）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
来場者数 (延べ人数)	12,457人	14,777人	2,117人	5,237人	10,805人	<u>400人</u>
実施事業数	9事業	11事業	2事業	4事業	7事業	<u>1事業</u>

2 港北区民文化センター開館に向けた賑わいづくり事業《新規》 【(5) 500千円】

6年3月の開館を広く周知するため、地域団体や近隣の学校と連携した「(仮称) 港北区民文化センター開館100日前イベント」を開催します。(12月)

[にぎわいスポーツ文化局区配予算]

・区民文化センター開館準備事業 【(5) 6,000千円】

6年3月の開館に向け、決定した指定管理者と開館準備業務委託契約を締結するとともに、開館に必要な備品等を購入し、開館に向けた準備を行います。

また開館に合わせ、指定管理者とともに、地域団体等と連携した開館記念事業を実施します。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3 - (8) 区民活動支援事業	1,510千円	1,049千円	69.5%
地域振興課			

【事業の概要】

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区域の中間支援組織である区民活動支援センターが市民公益活動と生涯学習を支援します。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(5) 135千円、(4) 343千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出しなどを行っています。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【(5) 1,075千円、(4) 955千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を発行します。区内の区民利用施設等のほか、地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配布します。

・年6回発行、15,000部 (2,500部/回)

3 市民グループ・団体支援事業 【(5) 240千円、(4) 320千円】

- ・ICT講座を開催します。(11・12月) (全2回)
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催します。(11月～3月)
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「つながるカフェ」を開催します。(10月～11月)
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催します。(12月)

4 区民活動支援センターICT化事業 【(5) 60千円、(4) 60千円】

- ・窓口相談の際にタブレットPC及び無線LAN (Wi-Fi)を活用し、ウェブサイトをご案内しています。
- ・活動団体等のオンラインミーティング、オンライン講座にタブレットPC及び無線LAN (Wi-Fi)を活用しています。

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3 - (9) 地域振興活動事業	2,550千円	530千円	20.8%
地域振興課			

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業【(5) 1,340千円、(4) 1,340千円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しています。

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 150団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部、回覧物13,000部等

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表すため、自治会町内会長感謝会を実施し、会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。（3月）

3 自治会町内会のICT化【(5) 210千円、(4) 500千円】

ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、講座を実施するなど、自治会町内会活動におけるICT化を引き続き支援します。

ICT講座	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施団体	2	7	—
実施回数	2	14	—

※3年度より事業開始

4年度までは連合町内会に出張する形でアプリの使い方やリモート会議の開催方法など一般的な内容の講座を行っていましたが、5年度は自治会町内会の広報担当者等を対象としてより実践に即した内容（ウェブサイトの作成・動画サイトの利用等）での集合形式の講座を開催します。

【市民局区配予算】【(5) 98,402千円、(4) 99,788千円】

自治会・町内会に補助金を交付し地域活動を支援しています。

- ・地域活動推進費
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助

【市民局区配予算】

- ・ 区連会ウェブサイトの更新
- ・ 実施中事業
- ・ 自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発ごみ袋の作製と配布
- ・ 自治会町内会区域図の提供
- ・ 区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・ 建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・ デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映
- ・ 広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・ 「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）
- ・ イベントへの広告掲載 / 動画の放映



【区連会ウェブサイト更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発ごみ袋】



【加入促進動画】

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(10) 読書活動推進事業	720千円	88千円	12.2%
地域振興課			

【事業の概要】

区の地域性に応じた読書活動を推進するため、「第二次港北区読書活動推進目標」に沿った取組や、日吉図書取次所「日吉の本だな」を活用した情報発信等を実施することで、区民が読書に親しむ機会を創出します。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(5) 200千円、(4) 150千円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進します。

(1) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室（7月26日、8月2日 港北図書館 参加者数延べ24人）
物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座



【こども「紙芝居づくり」教室】



(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月25日 横浜アリーナ）
読書活動推進月間中の取組として、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出展。（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場にて配布

2 読書情報発信事業 【(5) 440千円、(4) 430千円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化します。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・ 図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・ 地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会や体験会、区民活動支援センターの出張相談会など）



【まちの先生によるおはなし会】

(2) 各施設からの情報発信等

- ・ 図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介
- ・ 区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を引き続き配布



【港北区本との出会いマップ】

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやツイッター等、ICTを活用して発信

(4) 港北区読書講演会《新規》

港北区にゆかりのある作家等による講演会を開催し、区民が本と親しむ機会を創出
(12月2日 菊名地区センター)

3 読書団体連携事業 【(5) 80千円、(4) 220千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会

（6月28日 港北図書館 出席者数11機関15人）

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会

（6月14日 港北図書館 参加者数9団体14人）



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載（11月）

[教育委員会事務局区配予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業 【(5) 100千円、(4) 100千円】
区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施

局事業

[教育委員会事務局事業]

- ・図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業 【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】
日吉図書取次所（日吉の本だな）が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行っています。
（区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民活動の場のコーディネート、区民活動支援の一次対応など）

《参考》

【第二次港北区読書活動推進目標】

- 〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進
- 〔目標2〕だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進
- 〔目標3〕図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進
- 〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(11) こうほく3R推進事業	990千円	506千円	51.1%
地域振興課			

【事業の概要】

ヨコハマ3R夢プランに基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して3Rの推進に取り組みます。

世界的に問題となっている食品ロスやプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行います。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進します。

【主な内容】

1 3R夢行動の推進 【(5) 785千円、(4) 994千円】

(1) 3R夢行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等の表彰 (12月6日)

(2) 3R夢推進事業

- ・3R夢普及啓発

地域イベント、大型スーパー店頭、分別啓発地域説明会 (随時)

ふるさと港北ふれあいまつり (11月25日)

- ・食品ロス削減の取組

生ごみ減量化の土壌混合法説明会 (6月29日、7月28日、9月~10月、月1回)

フードドライブの受付及び啓発 (随時)



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【土壌混合法説明会】



【フードドライブ】

(3) 3R夢学習事業

- ・区民向け啓発講座 (随時)

- ・動画やSNSを活用した啓発

- ・保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習 (随時)



【保育園での出前講座】



【小学校での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、3R夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金の交付（年額3万円）
- ・環境事業推進委員への支援

[資源循環局区配予算]

- ・ヨコハマ3R夢広報啓発事業 【(5) 100千円、(4) 100千円】
啓発物品の購入費

《参考》

【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
燃やすごみ	47,559	48,314	50,001	48,362	47,275	-
その他	24,534	24,205	24,985	24,186	23,246	-

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量（不法投棄等）と資源化量の合計値です。

2 街の美化の推進 【(5) 205千円、(4) 255千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅など)(10月5日、2月)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年)
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(年1回))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)
日吉駅周辺一斉清掃(10月5日) ほか



【日吉駅周辺一斉清掃】

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【(5) 1,319千円、(4) 1,619千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

- ・新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- ・日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(12) 港北エコアクション推進事業	3,008千円	2,795千円	92.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めます。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【(5) 2,600千円、(4) 2,600千円】

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施します。

- ・区内小学校向け講座（6～11月）
- ・一般向け講座（10～12月）
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）



【区内小学校向け講座】



【一般向け講座】



【小学生の学習成果の展示会】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
実施回数						
小：小学校向け講座	20回	20回	18回	18回	20回	6回
一般：一般向け講座	(小18回、 一般2回)	(小18回、 一般2回)	(小18回) ※	(小18回) ※	(小18回、 一般2回)	(小6回、 一般0回)
延べ参加者数	1,763人	1,904人	1,242人	1,702人	1,301人	525人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

【環境創造局区配予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【(5) 300千円、(4) 150千円】
一般向け講座等にて、参加者が森に親しむ体験活動を実施

2 港北エコアクション推進事業 【(5) 408千円、(4) 476千円】

区庁舎及び太尾小学校の屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施します。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行います。

【環境創造局区配予算】

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業 【(5) 600千円、(4) 600千円】
企業連携等による地産地消イベントの開催等を実施

《参考》

【港北区直売所マップ発行】

- ・区内の野菜・果物・花苗等の直売所、よこはま地産地消サポート店等を紹介
(5年1月発行 11,000部)
- ・区役所等公共施設、区内直売所等で区民に対して配布。区ホームページにも掲載。



【港北区直売所マップ (4年度)】

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(13) データ活用による まちづくり推進事業	3,000千円	1,000千円	33.3%
区政推進課			

【事業の概要】

区が直面する課題を公民連携により分析・解決することで、地域活性化を図るため、区内の研究機関等と連携してデータ活用の普及に向けた事業を展開します。また、区が保有する統計情報等の各種データを適切に管理し、オープンデータ化を推進します。

【主な内容】

1 データ活用普及推進事業 【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）と連携し、データ活用への興味につなげる取組を実施します。

《参考》

【直近5か年の実施内容】

年度	実施内容
元年度	・スポーツデータサイエンス体験教室 ・スポーツデータ×ラグビー授業
2年度	・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	・「システム×デザイン思考」の実践を通じて地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度（7月末）	・「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」のアイデア創出を図るワークショップ（詳細は以下に記載）



【令和4年度の様子】



【令和4年度の様子】



【5年度の取組内容（予定）】

・「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」のアイデア創出を図るワークショップ

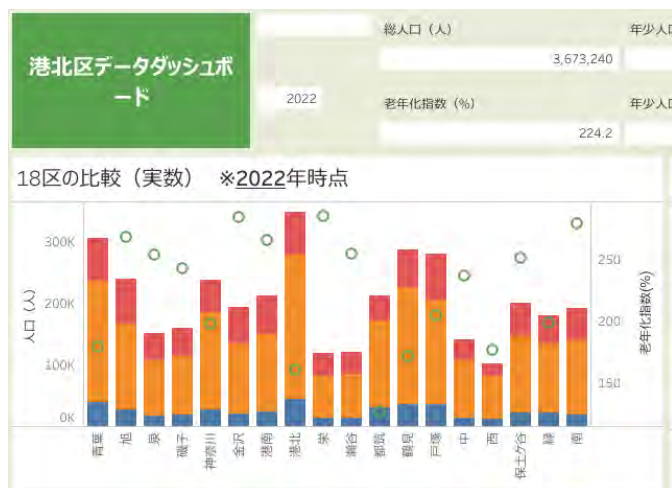
慶應SDMが提唱する問題解決手法「システム×デザイン思考」や各種データを活用することにより、「防災の自分ごと化」につながるアイデア創出を図るワークショップを実施します。

2 地域情報データベース 【(5) 2,000千円、(4) 2,000千円】

(1) 区の統計情報等のオープンデータ化の推進及びダッシュボードの公表

数字の羅列だけではわかりにくいデータを、直感的にわかりやすい形で「見える化」することで、市民や企業、NPO、大学などの多様な主体と港北区の姿を共有し、区民参加・公民連携による地域課題の解決や経済活性化を図ります。

5年度は、4年度に作成したダッシュボードを本格公表し、データを「見える化」して公表することの需要や効果を検証するとともに、必要性の高いデータの見極め等を行います。



【ダッシュボードのイメージ】

(2) 職員向けデータ活用研修

職員向け研修を実施し、データを重視した事業実施を推進します。(通年)

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(14) まちづくり調整費	2,324千円	1,416千円	60.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

1 まちづくり調査費・まちづくり調整事務費 【(5) 2,100千円、(4) 2,490千円】

区の課題に合わせたまちづくり調整を実施しており、現時点では日吉駅西口周辺交通空間の改善検討を進めています。

【まちづくり調査等】

年度	実施内容
30年度	篠原城址緑地の魅力発信のための整備図作成
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	SIB本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—*
5年度 (7月末)	日吉駅西口周辺交通空間の改善検討

※4年度は、区配予算の活用や事業者との協議等により、予算執行を伴わない対応を行ったため、まちづくり調査費の執行はありませんでした。

2 区民文化センター整備 【(5) 224千円、(4) 200千円】

区民文化センターの開館（6年3月予定）に向け、管理運営を行う指定管理者を決定し、開館に向けた準備を行うとともに、より区民から愛着を持たれる施設となるよう必要な整備を行います。

【開館までのスケジュール（7月末現在）】

- 5年9月 指定管理者との協定締結
- 11月 施設貸館受付業務の開始
- 6年3月 開館（内覧会・開館記念事業）

基本理念
「ハートでつながる わたしたちのまち」



【区民文化センター ホールイメージ】



【基本理念イメージ図】

[にぎわいスポーツ文化局区配予算]

- ・区民文化センター開館準備事業 【(5) 224,843千円、(4) 213千円】
6年3月の開館に向け、決定した指定管理者と開館準備業務委託契約を締結するとともに、開館に必要な備品等を購入し、開館に向けた準備を行います。
また開館に合わせ、指定管理者と共に、地域団体等と連携した開館記念事業を実施します。

[道路局区配予算]

- ・港北区バリアフリー基本構想の策定 【(5) 559千円、(4) 119千円】
バリアフリー法に基づき、新横浜駅、小机駅、大倉山駅の各駅周辺地区を対象に、高齢者・障害者・子育て中の人等、誰もが円滑に移動し、駅や施設を快適に利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想の検討を行い、5年度に策定します。

局事業**[教育委員会事務局事業] (再掲)**

- ・図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業 【(5) 1,000千円、(4) 1,000千円】
日吉図書取次所(日吉の本だな)が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行います。
(区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民活動の場のコーディネート、区民活動支援の一次対応など)

4-(1) 港北区PR情報発信事業

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(1) 港北区PR情報発信事業	1,802千円	734千円	40.7%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営します。また、区内転入者等に対して区域の生活に密着した情報等を盛り込んだ地図情報を提供します。さらに、区のキャラクターを有効活用した区のPRを行います。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(5) 202千円、(4) 160千円】

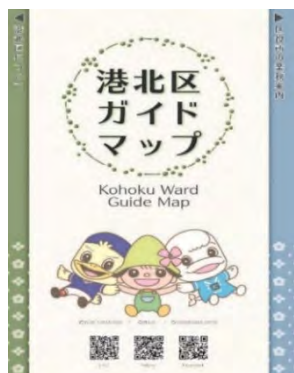
区ウェブサイトやツイッターを利用し、区民へタイムリーに情報発信します。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・ツイッターフォロワー数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
アクセス 件数	約298万件	約309万件	約350万件	約300万件	約250万件	約36万件
フォロワー 数	約5,700人	約7,700人	約8,800人	約10,200人	約10,700人	約10,800人

2 ガイドマップ発行事業 【(5) 900千円、(4) 900千円】

転入者等に向けて、区内の公共施設など生活に必要な情報を盛り込んだ区域の地図「港北区ガイドマップ」を発行し、提供します。(8月)



【港北区ガイドマップ】

3 区のキャラクターを活用したPR活動推進事業 【(5) 700千円、(4) 1,050千円】

港北区のキャラクターであるミズキーの着ぐるみの貸出しや、区の各事業と連動した啓発物品の製作、活用等により、区の事業への関心・参加を促進しています。



【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
利用件数	24件	42件	10件	7件	21件	2件

【港北区ミズキー】

4 区民サービス向上に向けた取組

4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(2) 戸籍課案内サービス 向上事業	3,510千円	4,183千円	119.2%
戸籍課			

【事業の概要】

来庁者の待ち時間の短縮や、待合フロアの混雑の緩和のため、web発券システムの運用や、戸籍課登録担当内の電話対応の一部委託化等を実施することにより、区民サービスの向上を図ります。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【(5) 2,340千円、(4) 4,540千円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期に電話対応の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図っています。

- ・電話オペレーター配置日数：計229日間
- ・繁忙期の5年4～5月、6年3月は2人、5年8月～6年2月は1人配置

【電話案内業務】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
電話受付件数	4,101件	5,486件	11,286件	16,029件	15,899件	<u>3,888件</u>
オペレーター配置日数	40日	59日	127日	252日	251日	<u>42日</u>
延べ配置人数	65人	115人	280人	309人	288人	<u>79人</u>

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

(2) web発券システムの運用《新規》

5年1月から運用を開始した、区役所へ来庁しなくても番号札を取得できるシステムを運用し、区役所の窓口混雑緩和を図っています。

【受付件数に対するweb発券割合】

	5年1月	5年2月	5年3月	5年4月	5年5月	5年6月	5年7月
受付件数 (1日平均)	210件	234件	343件	257件	<u>213件</u>	<u>189件</u>	<u>201件</u>
web発券数 (1日平均)	3件	5件	23件	13件	<u>8件</u>	<u>3件</u>	<u>3件</u>
割合	1.4%	2.1%	6.7%	5.1%	<u>3.8%</u>	<u>1.6%</u>	<u>1.5%</u>

※3月最終週における、1日当たりの平均web発券数：66件（平均受付件数532件 割合12.4%）
最高web発券数：3月29日 78件（受付件数527件 割合14.8%）

2 転入者キット作成事業 【(5) 470千円、(4) 460千円】

市政・区政情報や地域情報、イベント情報などを差し込んだ転入者キットの作成を障害者施設に委託しています。

- ・作製数：7,000部（4年度と同部数作製）
- ・作業単価増

4 区民サービス向上に向けた取組

【転入者キット作製数（5年度）（計画）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400部	600部	600部	600部	400部	800部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
600部	400部	400部	600部	800部	800部

3 繁忙期向け広報事業《拡充》 【(5) 700千円、(4) 200千円】

窓口の繁忙期にあわせ、窓口の分散利用、web発券利用促進及びマイナンバーカードの利用促進の広報を行います。

- ・地域紙等を活用した広報を実施します。(2月)
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシを配架します。(1月～3月)

《参考》

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

	31年3月末	2年3月末	3年3月末	4年3月末	5年3月末	5年7月末
人口(A)	347,081人	349,652人	351,554人	352,694人	355,442人	<u>355,648人</u>
世帯数(B)	170,863世帯	173,235世帯	175,307世帯	176,636世帯	179,337世帯	<u>179,730世帯</u>
平均世帯人員(A/B)	2.03人	2.02人	2.01人	2.00人	1.98人	<u>1.98人</u>

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
市外からの転入者数	14,622人	15,070人	14,451人	14,254人	14,868人	<u>4,767人</u>

[市民局区配予算]

- ・マイナンバーカード交付・更新事業 【(5) 26,000千円、(4) 25,804千円】

戸籍課窓口に加え、「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」におけるマイナンバーカードの申請及び交付を実施します。(3年1月25日開設)

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	690千円	333千円	48.3%
総務課			

【事業の概要】

区運営方針に掲げる4つの仕事力（「聴く力」、「考える力」、「行動する力」、「伝える力」）を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS（顧客満足度）・ES（職員満足度）の向上を図ります。

【主な内容】

- 1 CS・ES向上研修 【(5) 500千円、(4) 500千円】
 - (1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修
新採用・転入職員・会計年度任用職員に窓口・電話対応研修を実施しました。(4月21日、27日 参加者数：37名)
 - (2) 事務処理ミス防止研修
責任職、職員、会計年度任用職員に事務処理ミス防止研修を実施します。(8月23日、24日)
 - (3) スキル向上研修
職員、会計年度任用職員にスキル向上研修を実施しました。(7月28日 参加者数：18名)

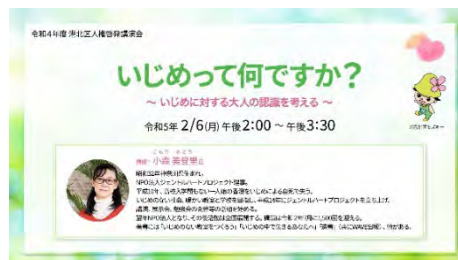
- 2 人権啓発講演会 【(5) 190千円、(4) 200千円】
市民・職員向けの人権啓発講演会を実施します。(12月14日)



【新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修(5年4月)】

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者
30年度	避難所で本当に命と健康守れますか!? 高齢者・障害のある方・女性・子どもなどの視点から	浅野 幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)	約400人
元年度	災害時のトイレ問題について 一緒に考えませんか? ~災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう~	加藤 篤 (NPO法人日本トイレ研究所代表理事)	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止※ (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのツイッターに投稿		
4年度	「いじめって何ですか?」 ~いじめに対する大人の認識を考える~	小森 美登里 (NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人



【4年度人権啓発講演会】

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4 - (4) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	8,376千円	3,763千円	44.9%
総務課			

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行います。

【主な内容】

区庁舎等の環境改善・機能強化【(5) 8,376千円、(4) 6,850千円】

- ・ 1階レイアウト変更
- ・ 2階フロアの公衆無線LAN (Wi-Fi) 通信費
- ・ 区役所内消毒作業 (4～5月)



【AEDレンタル】

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4 - (5) 区民利用施設環境改善事業	2,434千円	466千円	19.1%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行います。

【主な内容】

- 1 区民利用施設の環境改善・機能強化 【(5) 2,434千円、(4) 3,017千円】
 - ・区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等
 - ・子供の遊び場等の樹木保全、子供の遊び場安全基準不適合遊具の撤去等

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	13,571千円	12,519千円	92.2%
区政推進課			

【事業の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま区版を発行します。

【主な内容】

広報よこはま区版作製 【(5) 13,571千円、(4) 12,345千円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区ウェブサイトへの掲載やツイッター等で情報を発信しています。

また、5年度は広告枠を1枠追加し、年間約1,000千円の歳入予算を新たに確保しました。

(1) 発行

毎月1日、年12回
173万部（14.4万部/月）発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

- ・特集、トピックス記事
区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
- ・お知らせ記事
区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面



【広報よこはま区版】

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
発行：年1回（6年4月号に挟み込み）
仕様：4色刷り、4ページ
内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
年間部数	164万部	166万部	166万部	172万部	172万部	43万部
月平均部数	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部	14.3万部	14.4万部

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,092千円	2,077千円	99.3%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた区民の提案・意見などを受け付けて、回答するとともに内容を公表します。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(5) 2,092千円、(4) 2,092千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行っています。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日、 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理（140万円以下）、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1・3火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの 公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望 など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】（単位：件）

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (7月末)
特別 相談	法律相談	471	482	435	420	448	146
	司法書士相談	131	135	40	57	70	34
	公証相談	31	24	10	8	14	7
	交通事故相談	19	13	2	6	4	1
	行政相談	23	8	0	0	5	4
広聴事業		535	709	1,083	1,049	800	287
窓口案内		80,041	77,003	62,343	61,006	57,908	15,792

事業名・所管課	5年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,343千円	3,304千円	98.8%
地域振興課、こども家庭支援課			

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援します。
また、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【(5) 2,363千円、(4) 2,988千円】

- ・自然体験教室（9月23日）
- ・広報誌「港北青指」50号の記念号を発行（3月）
- ・港北区青少年指導員大会（3月）



【自然体験教室】



【広報誌（港北青指第49号）】

【自然体験教室の実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度 3年度	4年度	5年度
実人数	135人	96人	中止※1	65人※2	—
実施場所	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森		ソレイユの丘	ソレイユの丘
実施内容	クラフト体験	・森に関する講義 ・植樹体験 ・植物観察		天候不良により中止	クラフト体験 フォトラリー

※1 2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により中止

※2 申込者数

2 社会環境健全化事業 【(5) 80千円、(4) 80千円】

- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月）

3 学校・家庭・地域連携事業 【(5) 900千円、(4) 900千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ交付金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。

- ・交付金の活用事例：防犯対策・パトロール、地域環境美化・クリーン活動、緑化運動 等

自主企画事業（再掲）

- ・育もう「ふるさと港北」事業

青少年活動支援事業（自主企画分）【（５）５５０千円、（４）５００千円】

ペットボトルロケットの作製や競技を通じて、区民の親睦や地域連帯意識の高揚、家族のふれあいを深める場とするとともに、環境問題を考えるきっかけづくりを行います。



令和 6 年度 港北区予算編成の考え方について

区の基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」

～区民の皆様の安全・安心を守り、ともに歩む区政～

1 基本的な考え方

令和 6 年度予算編成にあたっては、「財政ビジョン」「中期計画」「行政運営の基本方針」の 3 つの市政方針を踏まえ、中期計画の基本戦略である「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の推進及び区の基本目標の実現を念頭に、予算を編成します。

すべての事業について、地域の課題やニーズに対応するよう、事業目的、効果及び手法等の検証を行い、見直しを推進するとともに、SDGs、地域コミュニティ強化、DX・データ活用及び協働・共創の視点を意識するとともに、18 区中最大の人口や地理的な状況など、区の特性に合わせた取組を進めます。

住民サービスの最前線にある区役所の特性を踏まえ、区民の皆様との共感、信頼の関係を土台に、自治会・町内会、商店会、企業、NPO 等の皆様とのつながりを深め、住みたい、住み続けたい豊かさがあふれるまちづくりを進めます。

2 重点的取組事項

次の 3 つの分野について重点的に取り組みます。

1 安全に、安心して暮らせるまちづくり

区内を横断する鶴見川による水害への備え、幅広い世代への防災意識の醸成など、地域防災力の向上を図ります。また、感染症等に関する啓発を充実させるとともに、地域と連携して子どもや高齢者の交通安全、防犯対策に引き続き取り組みます。

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

18 区中最大の出生数を踏まえ、子育て支援の更なる充実を図ります。また、第 4 期地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）を推進しつつ、第 5 期計画の策定に着手します。さらに、地域包括ケアシステムの推進や障害児・者への支援など、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

3 活気にあふれるまちづくり

令和 6 年 3 月に開館する区民文化センターを核とした文化芸術の振興や地域の活性化、GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた取組などで、まちを更に盛り上げます。また、商店街の振興やふるさと港北ふれあいまつりなどを通して、転出入が多い区民の交流やふるさと意識を育み、活気あふれるまちの未来に向けて取り組みます。

令和 5 年度 個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の取組について
(対象地区を 2 区から 5 区へ拡大します)

個別避難計画については、国の取組指針により優先度が高いと判断される方（洪水浸水想定区域に居住、当事者の心身の状況、独居等の居住実態など）について、地域の実情を踏まえながら、法改正からおおむね 5 年程度（令和 7 年度）までに作成に取り組むこととされています。

本市では、令和 4 年度から鶴見区と港北区の一部地区でモデル事業に取り組んできましたが、令和 5 年度は対象地区を 2 区から 5 区へ拡大して取り組みますので、ご報告させていただきます。

1 令和 5 年度の取組について

ア 対象地区の拡大（2 区から 5 区）

令和 4 年度にモデル事業を行った鶴見区、港北区は、モデル地区以外の地区（全域）に対象を広げてまいります。また、洪水浸水想定区域に居住する対象者が多い南区、保土ヶ谷区、戸塚区の 3 区全域へ対象地区を拡大します。

イ 実施方法

対象地区のケアマネジャーや計画相談員（以下「福祉専門職等」という。）等に研修を実施します。その後、洪水浸水想定区域等に居住する災害時要援護者の中から、要介護度といった身体状況等により抽出した対象者へ調査票を送付するとともに、福祉専門職等の協力により状況確認と個別避難計画作成の働きかけを行います。

モデル事業の検証結果を生かし、事業フローや様式を一部変更して効率化や負担軽減を図りながら作成を進めてまいります。

2 令和 6 年度以降の取組について

事業検証を進めながら、段階的に 18 区まで拡大してまいります。

3 今年度のスケジュール

9 月 該当区の区づくり推進横浜市議員会議、区連会等で報告

10 月 福祉専門職等を対象とした研修の実施

対象者へ調査票送付

11 月～2 月 個別避難計画作成